SHARP®

メビウス
活用ガイド

オリジナルの音楽 CD を作ったり
DVD ビデオを見たり

メビウスを
使って
楽しもう！



ご使用前のおことわり

- 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転写、あるいは複製することはお断りします。
- 本書は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載の操作方法は一例です。お使いのパソコンにより異なる場合があります。
- お買いあげのメビウスに付属しているアプリケーションソフトウェアは、バージョンや搭載機能が市販のパッケージ商品と一部異なる場合があります。

著作権などに関するご注意

メビウスを利用して各種CD・DVD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

商標、登録商標など

- Microsoft、Windows、Outlook、Officeロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。また、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- ドルビー、Dolbyおよびダブル D記号「」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権1992-1997ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

- UleadおよびUleadロゴ、DVD MovieWriter、DVDムービーライターは、Ulead Systems, Inc.またはユーリードシステムズ株式会社の登録商標です。
- CyberSupportは、株式会社ジャストシステムの商標です。
- CyberSupportは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupportにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- Memory Stick、Memory Stickロゴ、メモリースティック、メモリースティックロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- WinDVDは、InterVideo Inc.の商標です。
- Roxio,Roxio Easy Media CreatorはSonic Solutionsの商標です。
- SKYPEは、SKYPE社の登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

はじめに

本書では、次のアプリケーションソフトの活用方法を説明しています。

- ●Windows Media Player
- ●WinDVD
- ●Roxio Easy Media Creator
- ●Ulead DVD MovieWriter 4 SE
- ●AV Library
- ●音楽CDデータ転送ソフト
- ●Skype
- ●Microsoft はがきスタジオ Basic

代表的な使用場面を設定し、基本的な操作にしぼって説明しています。

上記のアプリケーションソフトがお買いあげのメビウスに付属しているかどうかは、「どんなソフトが入っているのか確かめよう」（☞9ページ）の手順に従って、「**パソコン電子マニュアル**」の「付属ソフトウェア一覧」で確認してください。

・各アプリケーションソフトの詳しい操作方法については、それぞれのアプリケーションソフトのヘルプを参照してください。

・アプリケーションソフトの使い方などに関するお問い合わせは、当社でお受けするソフトと、ソフトメーカーにお問い合わせいただくソフトがあります。お問い合わせ先は、「**パソコン電子マニュアル**」の「お問い合わせ先一覧」（☞10ページ）でご確認いただくか、［サポートのご案内］をご覧ください。

・別冊の説明書の表記について
この説明書では、別冊または別紙の説明書は枠囲みで表記しています。
例：［取扱説明書］

もくじ

メビウスを活用して、パソコンライフを楽しもう!!

やりたいことを見つけよう!!

メビウスでできることを確認する



6ページ

- どんな機器が使えるのか確かめよう --------7
- どんな使い方ができるのか確かめよう ----8
- どんなソフトが入っているのか確かめよう --------------------------------------9
- 問い合わせ先を調べよう -------------------- 10
- 説明が載っていないか探そう -------------- 11

音楽や映像を楽しむ



13ページ

- 音楽CDを聴こう ------------------------------ 14
- 曲をパソコンに取り込もう ------------------ 16
- DVDビデオを見よう -------------------------- 18
- 音楽や映像をみんなで楽しむ ------------- 21
- 他のパソコンと映像・画像・音楽を共有しよう --------------------------------------- 27
- CDの曲をデジタルオーディオプレーヤーにコピーしよう -------------------------------- 32

音楽CDやDVDを作る



34 ページ

●マイベストCDを作ろう ---------------------- 36
●デジタルビデオカメラの映像を
DVDにしよう ---------------------------------- 39
●ハードディスクに保存した映像を
DVDにしよう ---------------------------------- 41

Skype（スカイプ）で無料通話を楽しむ



45 ページ

●マイアカウントを登録する------------------ 47
●通話先を追加しよう-------------------------- 49
●通話をしよう ---------------------------------- 51

年賀状を作る



53 ページ

●年賀状をデザインしよう -------------------- 55
●差出人を登録しよう-------------------------- 58
●宛先を登録しよう ---------------------------- 59
●印刷しよう ------------------------------------ 60
●以前に作ったデザインや住所録を修正する-- 64
●別のはがき作成ソフトの
住所録を利用しよう-------------------------- 66

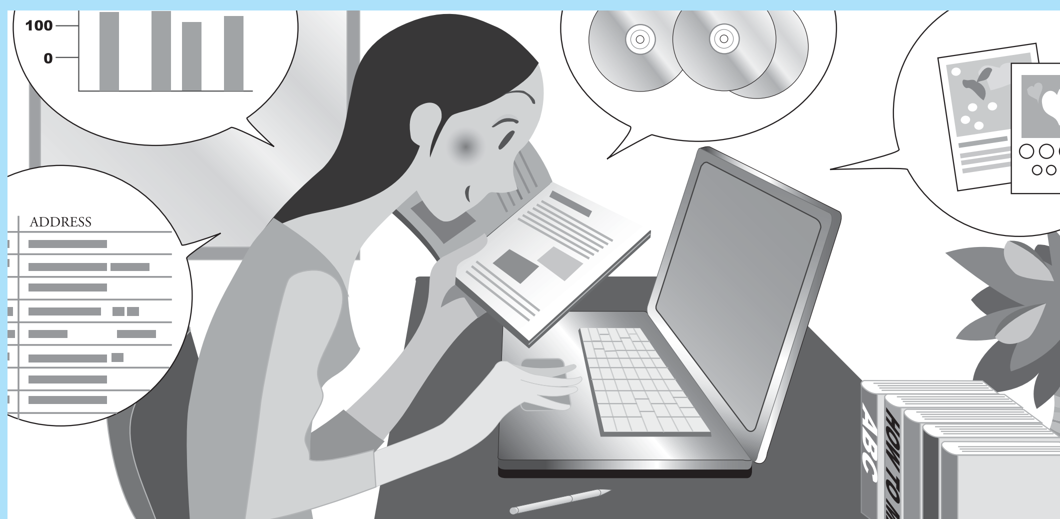
パソコンのデータを管理する



70 ページ

●CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、
DVD-RAMにデータを保存しよう ---------- 71
●CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、
DVD-RAMからデータを消去しよう-------- 73
●DVD-RAMのデータ保存と消去------------ 74
●古いパソコンからデータを引き継ごう--- 76

メビウスでできることを確認する



どんな機器が使えるのか確かめよう 7ページ
どんな使い方ができるのか確かめよう 8ページ
どんなソフトが入っているのか確かめよう 9ページ
問い合わせ先を調べよう 10ページ
説明が載っていないか探そう 11ページ

どんな機器が使えるのか確かめよう

パソコンは、本体のまわりにあるコネクターやカードスロットの種類によって、いろいろな機器が利用できます。
コネクターやカードスロットは、お使いのパソコンにより異なります。
お使いのパソコンでどんなコネクターがあるのかは、『取扱説明書』の「各部の名称」を参照してください。
以下は、主なコネクターなどの役割を紹介しています。

CD-R/RW&DVD-ROMドライブ DVDマルチドライブ DVDスーパーマルチドライブ		各種ディスクを再生したり、ディスクに書き込んだりします。ドライブにより扱えるディスクが決まっています。
IEEE 1394	IEEE1394コネクター	デジタルビデオカメラと接続して映像を取り込んだり、映像を出力したりするコネクターです。
	LANジャック	LANケーブルでLANに接続します。
	ヘッドホン出力/オーディオ出力ジャック	ヘッドホンやオーディオ機器を接続します。
	SDカードスロット	SDメモリーカード、メモリースティックや各種PCカードが利用できます。 利用できるカードには制限があります。 詳しくは、『取扱説明書』を参照してください。
	メモリースティックスロット	
PCカードスロット		

どんな使い方ができるのか確かめよう

CD-R/RW&DVD-ROMドライブが搭載されている機種では

音楽CDを聴くことができます。	14ページ	Windows Media Player
曲をパソコンに取り込むことができます。	16ページ	Windows Media Player
DVDビデオを再生できます。	18ページ	WinDVD
オリジナルの音楽CDを作成できます。	36ページ	Roxio Easy Media Creator
ハードディスクのデータをバックアップできます。	71ページ	Roxio Easy Media Creator

DVDスーパーマルチドライブ、DVDマルチドライブが搭載されている機種ではさらに

ハードディスクに保存した映像をDVDにできます。	41ページ	Ulead DVD MovieWriter 4 SE
IEEE1394コネクターがある機種では、デジタルビデオカメラの映像をDVDにできます。	39ページ	Ulead DVD MovieWriter 4 SE

ネットワークに接続すると

パソコンに取り込んだ映像や音楽を、別の部屋のパソコンで再生できます。	27ページ	AV Library

どんなソフトが入っているのか確かめよう

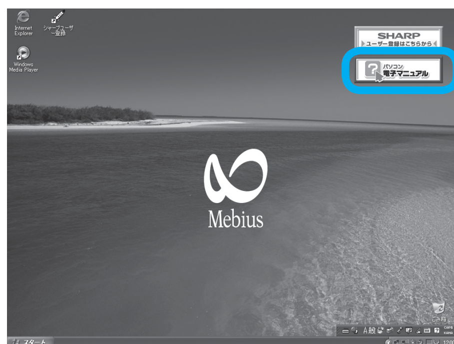
「パソコン電子マニュアル」を使うと、お使いのメビウスにどんなアプリケーションソフトが入っているのかを確かめることができます。

1 「パソコン電子マニュアル」を起動します

デスクトップの パソコン電子マニュアル をクリック。

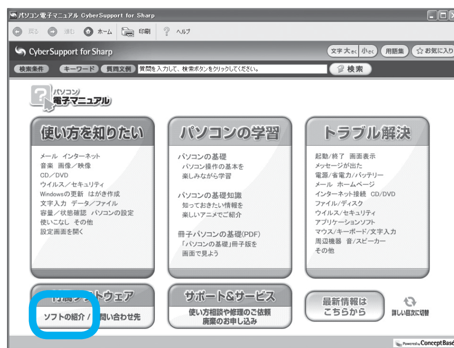
または、[スタート]をクリックし、「パソコン電子マニュアル」をクリック。

初めて起動したときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。契約書の内容を読み、同意される場合は[同意する]をクリックします。



2 付属ソフトウェア一覧のページを表示します

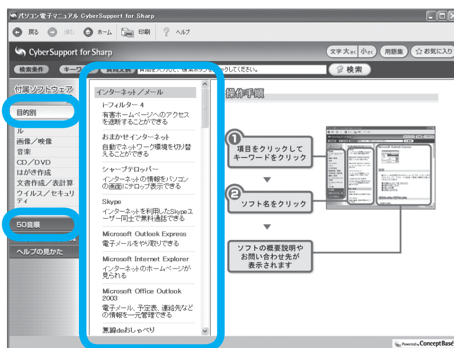
「ソフトの紹介」をクリック。



3 表示方法を指定します

「目的別」または「50音順」をクリック。
画面中央の列に、アプリケーションソフトの一覧が表示されます。

「パソコン電子マニュアル」のトップページに戻るには、画面上部の[ホーム]をクリックします。



問い合わせ先を調べよう

付属のアプリケーションソフトの問い合わせ先を調べる方法を紹介します。
サポートのご案内とあわせてご利用ください。

1 「パソコン電子マニュアル」を起動します

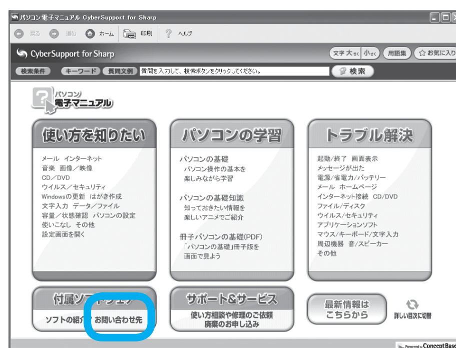


デスクトップの パソコン電子マニュアル をクリック。

または、[スタート]をクリックし、
「パソコン電子マニュアル」をクリック。

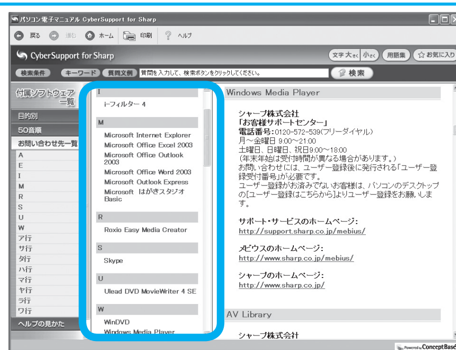
初めて起動したときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。契約書の内容を読み、同意される場合は[同意する]をクリックします。

2 お問い合わせ先一覧のページを表示します



「お問い合わせ先」をクリック。

3 中央の列から、調べたいアプリケーションソフトをクリックします



説明が載っていないか探そう

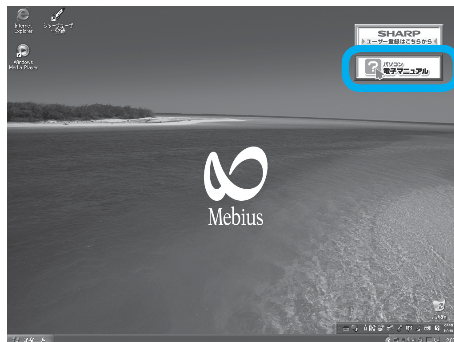
操作方法などがわからないときは、パソコン電子マニュアルに説明が載っていないか探してみましょう。

1 「パソコン電子マニュアル」を起動します

デスクトップの パソコン電子マニュアル をクリック。

または、[スタート]をクリックし、「パソコン電子マニュアル」をクリック。

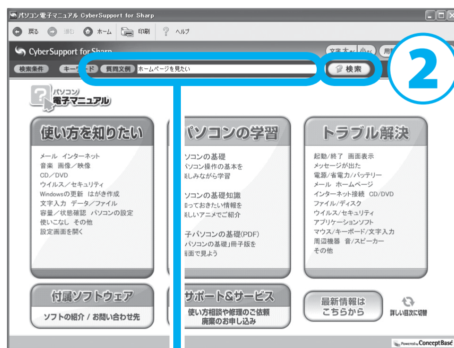
> 初めて起動したときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。契約書の内容を読み、同意される場合は[同意する]をクリックします。



2 検索します

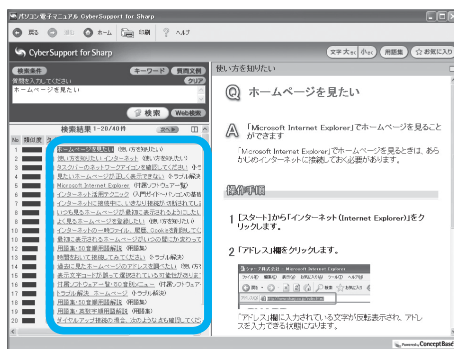
① 質問の文を入力。
　例：「ホームページを見たい」と入力。

② [検索]をクリック。



3 見たいタイトルをクリックします

> 画面の左側に、質問文との類似度が高い順にリスト表示されます。このリストの見たいタイトルをクリックすると、右側に対応する情報が表示されます。
> 検索直後は、リストの一番上の情報が画面の右側に表示されます。

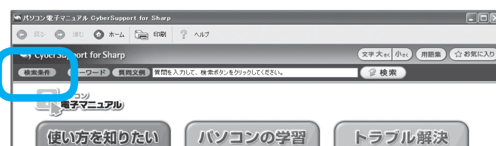


説明が載っていないか探そう

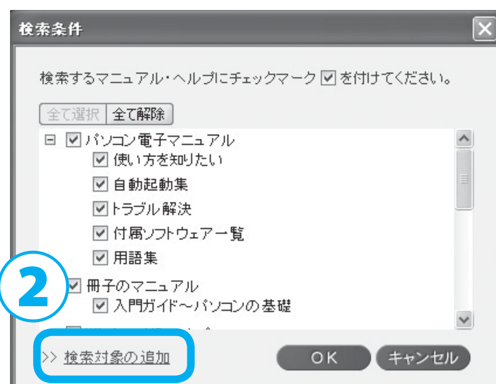
付属のアプリケーションソフトのヘルプを検索するには…

検索で説明を見つけ出す方法では、ご購入時は「パソコン電子マニュアル」の内容に加え、限られたアプリケーションソフトだけが検索の対象になっています。
次の操作で、検索対象のアプリケーションソフトを追加することができます。

① [検索条件]をクリック。

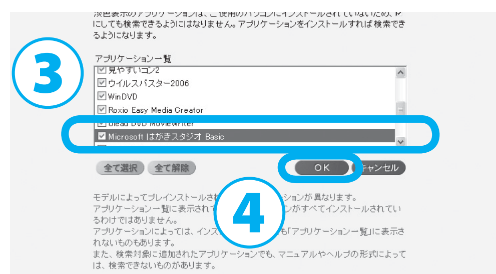


②「検索対象の追加」をクリック。

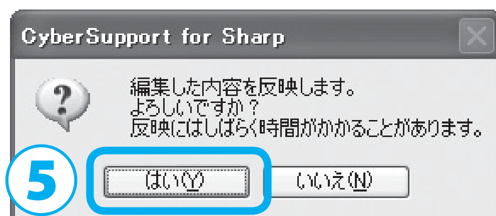


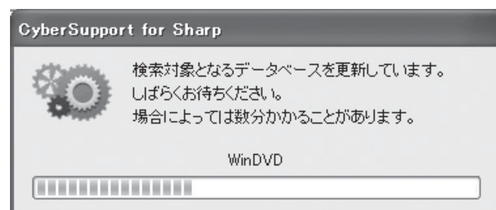
③ 追加したいアプリケーションソフトの□（チェックボックス）をクリックして、チェックマークを付ける。

④ [OK]をクリック。



⑤ 確認画面で［はい］をクリック。





アプリケーションソフトによっては、「検索対象の追加」画面のアプリケーション一覧に表示されないものもあります。また、検索対象に追加したアプリケーションソフトでも、マニュアルやヘルプの形式によっては「パソコン電子マニュアル」で検索できないものもあります。

音楽や映像を楽しむ



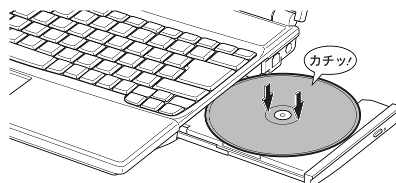
メビウスで音楽CDやDVDビデオを楽しむことができます。
また、AV Libraryを使うと、録りためた映像・画像・音楽をお使いのパソコンやネットワークに接続している他のパソコンで楽しむことができます。

音楽CDを聴こう	14ページ	Windows Media Player
曲をパソコンに取り込もう	16ページ	Windows Media Player
DVDビデオを見よう	18ページ	WinDVD
音楽や映像をみんなで楽しむ	21ページ	AV Library
他のパソコンと映像・画像・音楽を共有しよう	27ページ	AV Library
CDの曲をデジタルオーディオプレーヤーにコピーしよう	32ページ	音楽CDデータ転送ソフト

音楽CDを聴こう

内蔵のCD/DVDドライブおよびWindows Media Playerで、音楽CDを聴くことができます。

1 音楽CDをCD/DVDドライブにセットします



ディスクが認識されると、Windows Media Playerが起動し、自動的に再生が始まります。

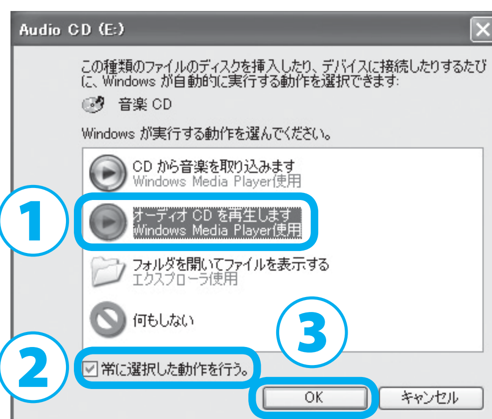
ディスクが認識されるまで、10秒以上かかります。

動作を選択する画面が表示されたときは…

音楽CDをCD/DVDドライブにセットしたときの動作を設定します。

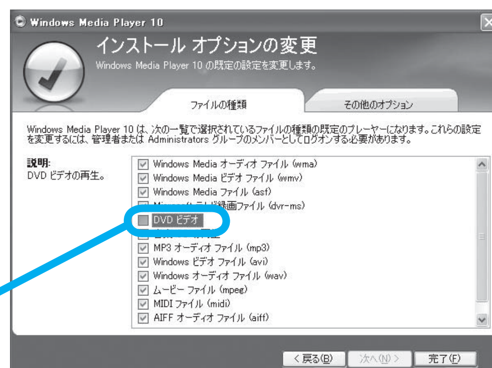
1. 「オーディオCDを再生します」をクリック。
2. 「常に選択した動作を行う。」をクリックしてチェックマークを付ける。
3. [OK]をクリック。

この設定により、音楽CDをCD/DVDドライブにセットすると、自動的に再生が始まるようになります。



「Windows Media Player 10へようこそ」の画面が表示されたときは…

初めて起動したときには、「Windows Media Player 10へようこそ」の画面が表示されます。内容を確認して設定を完了してください。DVDビデオの再生は、「WinDVD」の使用をお勧めします。「インストールオプションの変更」画面では、「ファイルの種類」タブでDVDビデオのチェックマークを外してください。





音量の調節について

音量の調節は、Windows Media Playerでの調整だけでなく、キーボードやWindowsでも調節できます。
取扱説明書 の「音量を調節する」を参照してください。

ランダム再生/連続再生について

を繰り返しクリックすると、再生のしかたを次のように切り替えることができます。

- 再生リストの順に再生され、最後の曲が終わると停止する
- 再生リストの順に再生され、最後の曲が終わると最初の曲に戻って連続再生される
- 再生リストの曲がランダムに再生され、一巡したら停止する
- 再生リストの曲がランダムに再生され、一巡した後もランダム再生が続く

2 終了するときは、右上の （閉じる）をクリックします



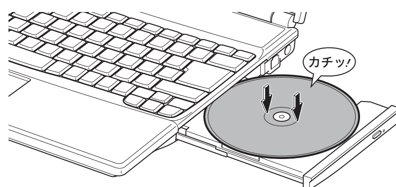
Windows Media Playerに関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、「**パソコン電子マニュアル**」の「お問い合わせ先一覧」（☞10ページ）でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

曲をパソコンに取り込もう

音楽CDの内容をWindows Media Playerでパソコンに取り込むことができます。取り込んだ音楽は、パソコンで再生したり、音楽CDを作成するときに利用できます。

CD規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）の場合、音楽をパソコンに取り込むことができません。CDのパッケージや印刷物をよくお読みください。

1 音楽CDをCD/DVDドライブにセットします



Windows Media Playerが起動します。

2 自動的に再生が始まったら、（停止）をクリックしていったん再生を停止します



3 取り込みます



1. 「取り込み」タブをクリック。
2. 取り込まない曲をクリックしてチェックマークを外す。
3. [音楽の取り込み]をクリック。
   初めて取り込みをするときは、「取り込みオプション」画面が表示されます。
4. オプションを選択し、著作権事項の内容を確認してチェックボックスにチェックマークをつけ、[次へ]をクリックします。
   「取り込みオプション(2/2)」が表示されます。
5. 録音したいオーディオ形式を選択して[完了]をクリックします。
   「現在の形式設定を変更する」を選択した場合は、保存先とファイル形式を選択し、必要に応じて項目を設定して[OK]をクリックします。

「CDから取り込む音楽が、米国および各国の著作権法ならびに国際条約で保護されていること、および取り込んだ者自身が、それを使用する上でのすべての責任を負うことを理解している」ことに同意してチェックマークを付けないと、次に進むことができません。

4 終了するときは、右上の ✕（閉じる）をクリックします

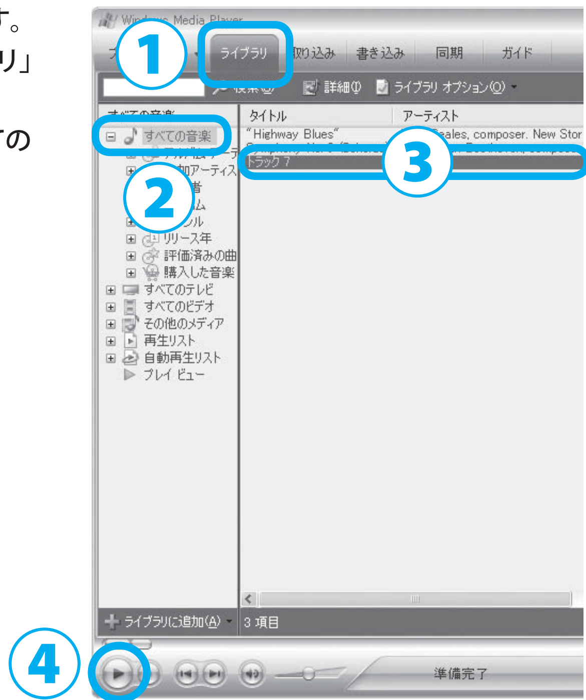


- Windows Media Playerの詳しい操作については、Windows Media Playerのヘルプを参照してください。ヘルプは、[F1]キーを押すと表示できます。
- Windows Media Playerに関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、「**パソコン電子マニュアル**」の「お問い合わせ先一覧」（☞10ページ）でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

取り込んだ曲を再生するには

次の操作で、取り込んだ曲を再生できます。

1. Windows Media Playerの「ライブラリ」タブをクリック。
2. コンテンツウィンドウ領域で「すべての音楽」をクリック。
3. 詳細ウィンドウ領域で曲をクリック。
4. ▶（再生）をクリック。



DVDビデオを見よう

内蔵のCD/DVDドライブおよびWinDVD（付属ソフト）を使って、DVDビデオを見ることができます。

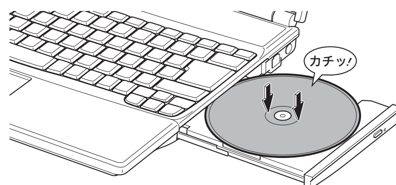
■DVDビデオを再生するときの準備

再生の途中で不意に止まったりすることを避けるために、再生する前に次の準備を行ってください。

- ACアダプターを接続する。
- スクリーンセーバーを「なし」に設定する。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- 画面の表示先は、「シングル表示」（表示先は1つ）に設定する。
  外部ディスプレイとの同時表示やマルチモニター表示では、正しく再生されないことがあります。

- DVDビデオによっては、コマ落ち（音声や映像が一瞬途切れる）することがあります。
- DVDビデオによっては、録音レベルが低く、音量を最大にしても音が小さいものがあります。
- CPRM方式で著作権保護されたディスクを再生する場合には、別途無償アップデートを行う必要があります。
  インターネットに接続できる環境が必要です。
  また、アップデートの際に使用したメールアドレスとパスワードは忘れないようにご注意ください。
  再インストールでアップデートの内容が消えたときなど、再度アップデートをする場合に同じメールアドレスとパスワードが必要となります。

1 DVDビデオをCD/DVDドライブにセットします



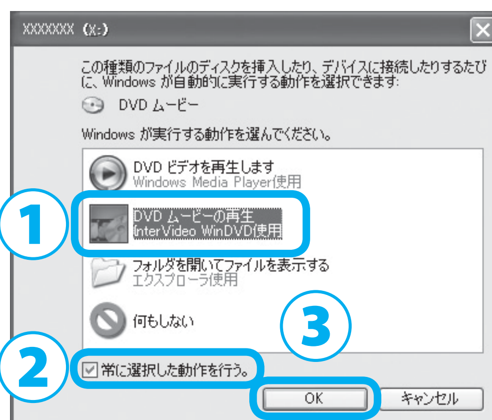
自動的に再生が始まります。

両面が再生できるDVDビデオの場合は、再生面の表記（Side Aなど）がある面を上にしてセットしてください。

動作を選択する画面が表示されたときは…

DVDビデオをCD/DVDドライブにセットしたときの動作を設定します。

1. 「DVDムービーの再生」をクリック。
2. 「常に選択した動作を行う。」をクリックしてチェックマークを付ける。
3. ［OK］をクリック。



この設定により、DVDビデオをCD/DVDドライブにセットすると、自動的に再生が始まるようになります。

2 WinDVDのコントロールパネルを操作して再生します



音量の調節について

音量の調節は、WinDVDでの調整だけでなく、キーボードやWindowsでも調節できます。
取扱説明書 の「音量を調節する」を参照してください。

次のいずれかの操作で、全画面表示にしたり元の画面サイズに戻したりできます。

- コントロールパネル右上の （フルスクリーン）をクリック。
- [Z]キーを押す。
- ビデオ画面上でダブルクリック。
- [ESC]キーを押す。

3 終了するときは、 （閉じる）をクリックします

- WinDVDの操作については、WinDVDのヘルプを参照してください。ヘルプは、[F1]キーを押すと表示できます。
- WinDVDの実行中に、表示先を切り替えたり、解像度や色数など画面表示に関する設定を変更しないでください。画像が乱れることがあります。
- 一時停止後、再生を再開すると画面が一瞬途切れることがあります。
- WinDVDに関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、「**パソコン電子マニュアル**」の「お問い合わせ先一覧」（☞10ページ）でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

DVDビデオを見よう

■DVDのリージョン番号について

DVDビデオディスクには、リージョン番号（再生可能地域番号： など）が設定されています。ご購入時の状態で再生が可能なのは、リージョン番号が「2」と「ALL」のディスクです。リージョン番号はDVDビデオディスクに表示されています。国内で制作・販売されているDVDビデオディスクを再生するときは、通常は設定を変更する必要はありませんが、変更できるのは4回までです。変更を必要とする場合は、「WinDVD」のヘルプを参照してください。

ドルビーデジタルサラウンド(5.1チャンネル)を楽しむには

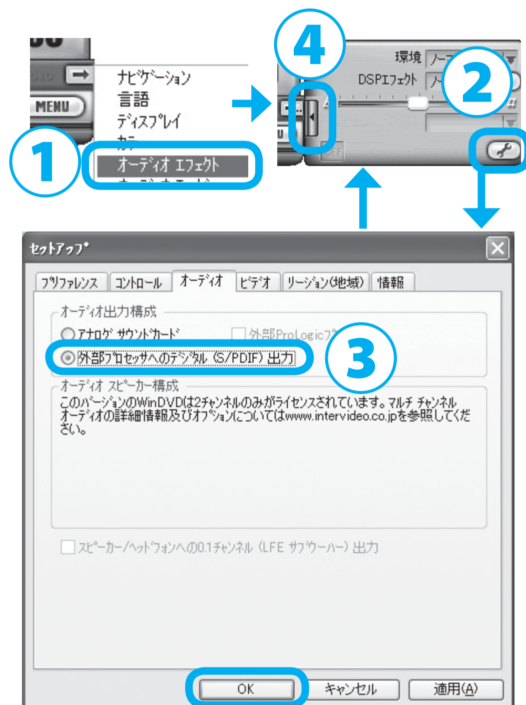
光デジタルオーディオ出力ジャックがあるメビウスでは、市販の光デジタルオーディオケーブルでドルビーデジタルサラウンド方式に対応したAVアンプやスピーカーなどを接続し、臨場感あふれる音でDVDビデオをお楽しみいただけます。
5.1チャンネルで録音されたDVDビデオの音声を5.1チャンネルで出力するには、次の操作でWinDVDの設定を変更してください。

① コントロールパネルの - [オーディオエフェクト]をクリック。

② サブパネルの をクリック。

③「オーディオ」タブの「オーディオ出力構成」で「外部プロセッサへのデジタル（S/PDIF）出力」を選択し、［OK］をクリック。

④ をクリックしてサブパネルを閉じる。



音楽や映像をみんなで楽しむ

- お使いのパソコンに保存している映像・画像・音楽をAV Libraryで再生できます。
- ネットワーク（LAN）に接続している場合は、このパソコンや他のパソコンに保存している映像・画像・音楽を共有し、お互いのパソコンで再生できます。

AV Libraryの詳しい操作については、ヘルプを参照してください。ヘルプを見るときは、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」-「SHARP AV Library」-「AV Library」-「AV Library のヘルプ」または［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」-「SHARP AV Library」-「AV Library Server」-「AV Library Serverのヘルプ」をクリックしてください。

ライブラリで再生できるファイル形式

ライブラリでは、次の形式のファイルを再生できます。

映像ファイル	MPEG-2、AVI、WMV
画像ファイル	JPEG、BMP、PNG
音楽ファイル	MP3、WMA、WAV、LPCM

※ 上記の各ファイル形式の条件を満たしていても、ご使用の環境によっては正常に再生・表示できない場合があります。

お使いのパソコンで楽しむには

「公開フォルダ」を指定する	22ページ
↓	
「公開フォルダ」に、楽しみたい映像・画像・音楽を保存	22ページ
↓	
AV Libraryを起動	24ページ
↓	
公開フォルダにある映像・画像・音楽を楽しむ	25ページ

他のパソコンと映像などを共有するには

このパソコンでユーティリティＣＤを作成	27ページ
↓	
作成したユーティリティＣＤを他のパソコンにセットしてAV Libraryをインストール	29ページ
↓	
それぞれのパソコンで「公開フォルダ」を指定する	31ページ（22ページ）
↓	
「公開フォルダ」に、楽しみたい映像・画像・音楽を保存	22ページ
↓	
AV Libraryを起動	31ページ
↓	
公開フォルダにある映像・画像・音楽を楽しむ	31ページ

音楽や映像をみんなで楽しむ

公開フォルダを指定する

AV Libraryは、公開フォルダとして設定されているフォルダ内のファイルだけを再生･表示します。
あらかじめ、次のフォルダが公開フォルダとして設定されています。
お使いのパソコンによっては、異なるフォルダが公開フォルダに設定されている場合があります。

- マイ ピクチャ（My Pictures）
- マイ ビデオ（My Video）
- マイ ミュージック（My Music）

上記以外のフォルダに保存している映像･画像･音楽を公開するには、次の操作で公開フォルダの追加登録をするか、上記のフォルダに映像・画像・音楽データをコピーしてください。

ネットワーク（LAN）がインターネットに接続されている環境では、フォルダ内のファイルが外部に流出するおそれがあります。インターネットに接続されたLANでフォルダを公開する場合は、セキュリティ対策を施しておくことを強くお勧めします。

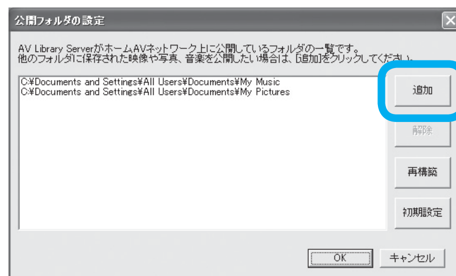
1 設定画面を表示します

① タスクバーの または を右クリック。
② 「公開フォルダの設定」をクリック。
「公開フォルダの設定」画面が表示されます。

- 初めて使用したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されます。記載内容を確認し、同意される場合は[同意する]をクリックしてください。
- タスクバーに または が表示されていないときは、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」-「SHARP AV Library」-「AV Library Server」-「AV Library Server」をクリックしてAV Library Server（サーバー機能）を起動してください。

2 [追加]をクリックします

「フォルダの参照」画面が表示されます。

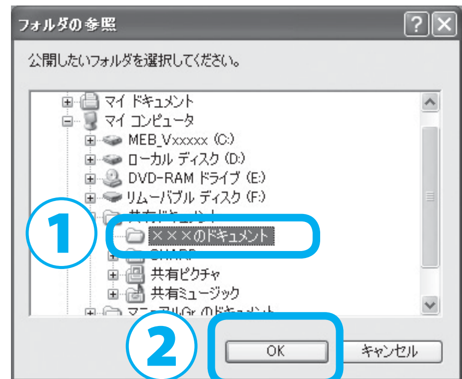


3 登録するフォルダを追加します

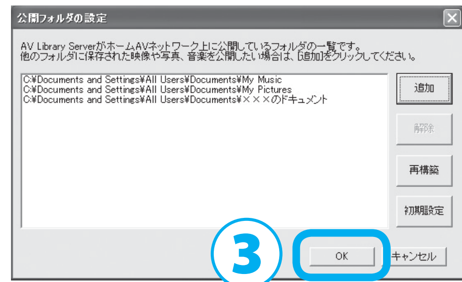
① 登録するフォルダをクリック。

② [OK]をクリック。

選択したフォルダが、公開フォルダリストに追加されます。



③ [OK]をクリック。



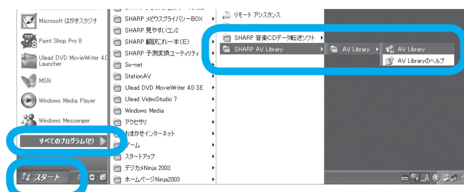
公開を解除するときは、手順2 の画面でフォルダを選択し[解除] をクリックします。

このパソコンに録りためた映像・画像・音楽を楽しむ

公開フォルダに保存している映像・画像・音楽を再生します。

1 AV Libraryを起動します

［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」-「SHARP AV Library」-「AV Library」-「AV Library」をクリック。



2 コンテンツの種類を選択します

コンテンツの種類をクリック。

「サーバー一覧」を選択するとアクセス可能なコンピュータの一覧が表示され、選択したコンピュータのコンテンツのみを表示することができます。



3 フォルダを選択します

内容を見たいフォルダをクリック。



4 コンテンツを再生します

① 見たいコンテンツをクリック。



- フォトの場合、再生するコンテンツを選ぶと自動的にスライドショーが始まります。
  途中で止めたいときは、■をクリックしてください。
- ポインターを移動すると、コントローラーが表示されます。
  各ボタンの働きは、再生しているコンテンツの種類により異なります。ヘルプを参照してください。

② ■をクリックして再生を終了。
コンテンツの一覧画面に戻るときは▦をクリックします。



スライドショー再生中にBGMを流すには

① スライドショー再生中に▦をクリック。
② AV Libraryのトップメニューが表示されるまで[戻る]をクリック。
③「ミュージック」をクリック。
④ フォルダをクリック。
⑤ 聴きたい曲をクリック。
⑥ コントローラーの♫をクリック。
⑦ ▶をクリック。
スライドショーが再開されます。

5 終了します

⏻をクリックして、ライブラリを終了。



ライブラリの環境設定について

各画面の「設定」を選択することで、好みに応じてライブラリの動作などを変更することができます。

フォト画面の設定項目

並び替え	ファイルの並びを設定します。 ・名前の昇順　・名前の降順　・日付の昇順　・日付の降順
画像の切り替え効果	スライドショーで画面が切り換わるときの視覚効果を設定します。 ・なし　・ランダム　・クロスディゾルブ　・ディザディゾルブ　・ランダムディゾルブ ・スライドイン　・ワイプ　・チェッカーワイプ　・レクトアングルワイプ
画像の表示時間(秒)	1枚の画像の表示時間を設定します。 ・1　・3　・5　・10　・15　・30

ミュージック画面の設定項目

並び替え	ファイルの並びを設定します。 ・名前の昇順　・名前の降順　・日付の昇順　・日付の降順 ・アーティストの昇順　・アーティストの降順　・アルバムの昇順　・アルバムの降順 ・ジャンルの昇順　・ジャンルの降順　・トラックの昇順　・トラックの降順

ムービー画面の設定項目

並び替え	ファイルの並びを設定します。 ・名前の昇順　・名前の降順　・日付の昇順　・日付の降順

他のパソコンと映像・画像・音楽を共有しよう

ネットワーク（LAN）に接続している場合は、お使いのパソコンや他のパソコンに保存している映像・画像・音楽を共有し､お互いの機器で再生できます。
映像・画像・音楽を共有できるようにするには、このパソコンでユーティリティ CDを作成し、共有する他のパソコンにAV Libraryをインストールする必要があります。

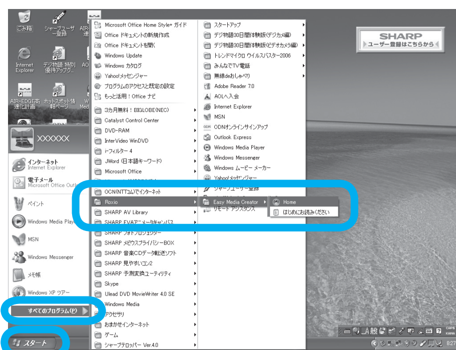
ユーティリティ CDを作成する

■準備するもの

未使用のCD-R

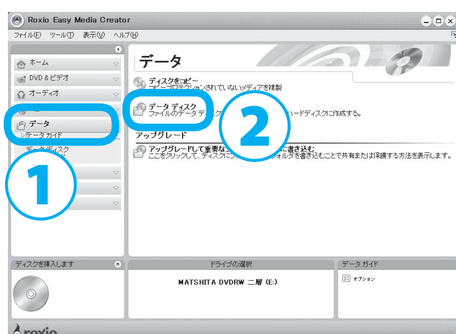
1 Roxio Easy Media Creatorを起動します

[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」「Roxio」-「Easy Media Creator」-「Home」をクリック。



2 操作画面を表示します

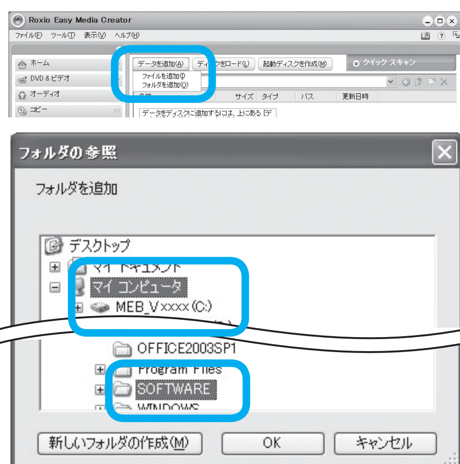
① 画面左側の「データ」タブをクリック。
② 「データディスク」をクリック。



他のパソコンと映像・画像・音楽を共有しよう

3 コピーするデータを指定します

① [データを追加]をクリック。
② 「フォルダを追加」をクリック。
③ 「マイコンピュータ」-「MEB_Vxxxx(C:)」-「SOFTWARE」フォルダを選択して[OK]をクリック。

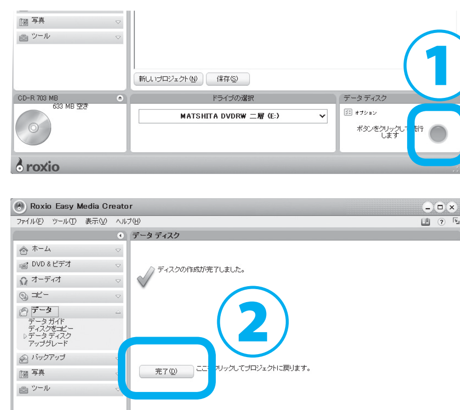


4 新しいCD-RをCD/DVDドライブにセットします

「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは[キャンセル]をクリックします。

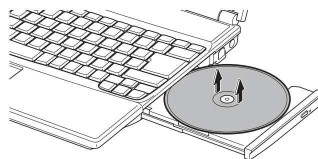
5 CD-Rに書き込みます

① （ボタン）をクリック。
ディスクへの書き込みが始まります。
書き込みが終わると、自動的にCD/DVDドライブが開きます。
② [完了]をクリック。



6 終了します

① ディスクを取り出す。
② 画面右上の × をクリック。



- 「現在のデータディスクプロジェクトを保存しますか？」と表示された場合は、[いいえ]をクリックしてください。
- ユーティリティＣＤには、AV Libraryの他に無線deおしゃべりもコピーされます。ネットワークを使って相手のパソコンに映像を送りたいときなどにお使いください。
詳しくは、取扱説明書 を参照してください。

他のパソコンにAV Library をインストールする

ネットワークに接続している他のパソコンと映像・画像・音楽を共有するため、共有するパソコンにAV Libraryをインストールします。

必要な動作環境

対応OS	・Windows XP Home Edition SP2（日本語版のみ） ・Windows XP Professional SP2（日本語版のみ）
CPU	・Intel Celeron 1GHz 以上または互換CPU 1GHz 以上 ・Intel Pentium III 以上または互換CPU 1GHz 以上を推奨
メモリー	・256MB 以上を推奨
ハードディスク	・50MB 以上の空き容量
ネットワークアダプター	・利用環境に応じたLANアダプターまたはワイヤレスLANアダプター
ディスプレイ	・解像度1024 × 768 ドット以上・色High Color（16 ビット）以上

- 上記の条件を満たしていても、ご使用のソフトウェア、ハードウェアの環境によっては正常に動作しない場合があります。
- サーバー側のパソコンの使用状況によっては、映像のコマ落ちが発生する場合があります。

1 インストールする準備をします

① 他のパソコンのCD/DVD ドライブに、前ページで作成したユーティリティ CD をセット。
② ［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリック。
「マイコンピュータ」画面が表示されます。
③ CD/DVD ドライブのアイコンをダブルクリック。
④「SOFTWARE」フォルダをダブルクリック。
⑤「AV Library」フォルダをダブルクリック。
「AV Library」フォルダと「AV Library Server」フォルダが表示されます。
⑥「AV Library」フォルダをダブルクリック。

メビウスでできることを確認する
音楽や映像を楽しむ
音楽CDやDVDを作る
Skypeで無料通話を楽しむ
年賀状を作る
パソコンのデータを管理する

2 AV Libraryをインストールします

① 「Setup」アイコンをダブルクリック。
インストーラーが起動します。

② 画面の指示に従ってAV Library をインストールします。

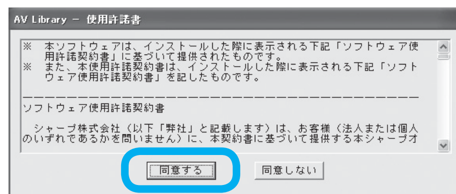
③ インストールが完了したら「AV Library Server」フォルダをダブルクリック。

④ 「Setup」アイコンをダブルクリック。
インストールが完了したら、再起動を促す画面が表示されます。

⑤ [はい]をクリック。
パソコンが再起動されます。

- サーバー名の入力画面が表示されたら、ネットワーク上でそのパソコンが特定できるような名前を入力します。名前は、あとで変更することもできます。
- ファイアウォールの変更画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

⑥ タスクバーに表示された をクリックし、「使用許諾契約書」の画面の内容をよく読み、同意される場合は[同意する]をクリック。
AV Library Serverは、電源を入れると自動的に起動します。

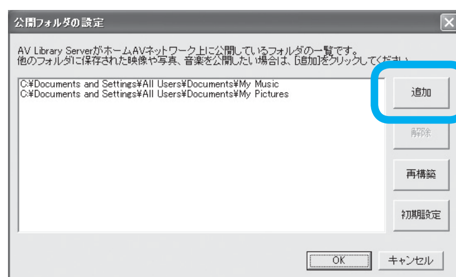


他のパソコンと共有して映像・画像・音楽を楽しむ

ここでは、このパソコンとネットワーク(LAN)に接続している他のパソコンと映像・画像・音楽を共有し、お互いの機器で再生する方法について説明します。

1 このパソコンと他のパソコンで公開フォルダを設定します

詳しくは「公開フォルダを指定する」(☞22ページ)を参照してください。



2 AV Libraryを起動して映像・画像・音楽を再生します

詳しくは「このパソコンに録りためた映像・画像・音楽を楽しむ」(☞24ページ)を参照してください。

電源が入っていないパソコンの映像・画像・音楽ファイルは再生できません。



ライブラリの終了のしかた

1 コントローラーの⏻をクリックします

ライブラリが終了します。

メニュー画面から終了するとき
[終了]をクリック。



CDの曲をデジタルオーディオプレーヤーにコピーしよう

音楽CDの内容を、シャープ製デジタルオーディオプレーヤーにコピーします。
CDの内容を全てコピーします。

■使用できるデジタルオーディオプレーヤー（2006年6月現在）

MP-S200/S300/B200/B300

1 音楽CDデータ転送ソフトを起動します

[スタート]をクリックし､｢すべてのプログラム｣-｢SHARP 音楽 CDデータ転送ソフト」-「音楽CDデータ転送ソフト」をクリック。

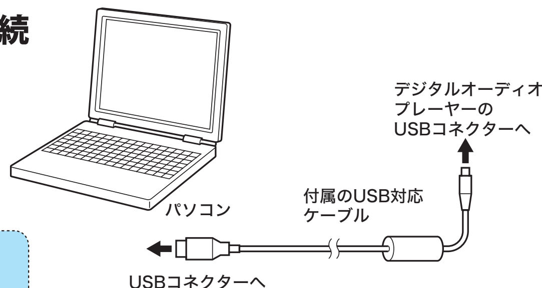
設定画面が表示されたときは、「音質」を指定して［OK］をクリックしてください。



2 デジタルオーディオプレーヤーを接続します

接続には、デジタルオーディオプレーヤーに付属のUSB対応ケーブルをお使いください。

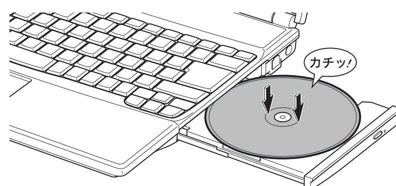
動作を選択する画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックしてください。



3 音楽CDをCD/DVDドライブにセットします

音楽CDデータ転送ソフト画面に、音楽CD情報が表示されます。

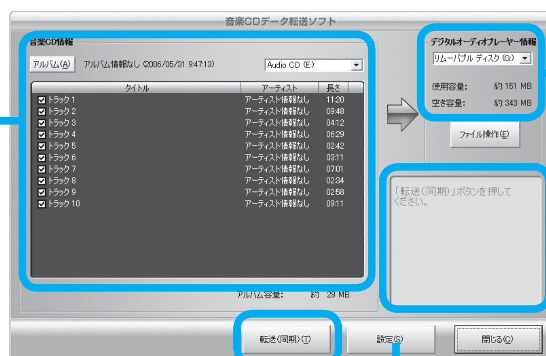
インターネットに接続している場合、アルバム名、曲名、アーティスト名などの情報を取得して表示します。



CDの曲をデジタルオーディオプレーヤーにコピーしよう

4 曲を転送します

- 転送を行う音楽CDの情報を表示
- 転送しない曲はチェックを外す



転送先のデジタルオーディオプレーヤーの情報を表示

操作アドバイスを表示

各種設定を行うボタン

①

① [転送(同期)]をクリック。
曲の転送が始まります。

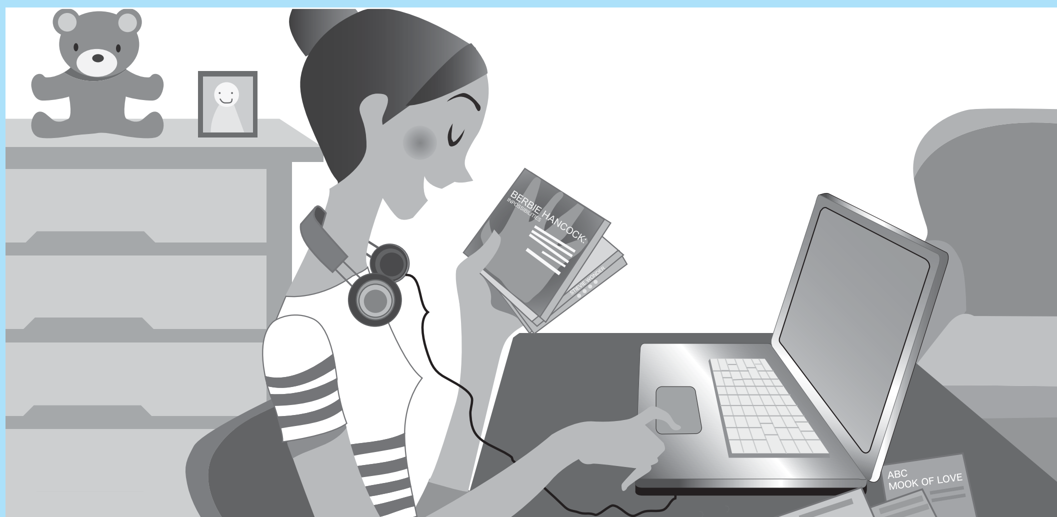
② 転送が終了すると、「…転送(同期)しました」のメッセージが表示され、操作アドバイスの表示が「引き続き音楽CDのデータを転送するには別の音楽CDに入れ替えてください」に変わります。
「…転送(同期)しました」のメッセージは、しばらくすると自動的に消えます。

5 終了するときは、[閉じる]をクリックします



- デジタルオーディオプレーヤーの接続や取り外し、その他詳しい使い方については、デジタルオーディオプレーヤーに付属の取扱説明書を参照してください。
- 音楽CDデータ転送ソフトの詳しい操作については、「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」を参照してください。[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「SHARP 音楽CDデータ転送ソフト」-「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をクリックすると表示できます。
- 音楽CDデータ転送ソフトに関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は「パソコン電子マニュアル」の「お問い合わせ先一覧」(☞10ページ)でご確認いただくか、(サポートのご案内)をご覧ください。

音楽CDやDVDを作る



このパソコンでは、オリジナルの音楽CDやDVDビデオを作成できます。
ただし、CD-R/RW＆DVD-ROMドライブの場合、DVDビデオを作成できません。
取扱説明書の「各部の名称」「仕様一覧」や仕様一覧で、CD/DVDドライブの種類を確認してください。

マイベストCDを作ろう	36ページ	Roxio Easy Media Creator
デジタルビデオカメラの映像をDVDにしよう	39ページ	Ulead DVD MovieWriter 4 SE
ハードディスクに保存した映像をDVDにしよう	41ページ	Ulead DVD MovieWriter 4 SE

ディスクへの書き込みのご注意

■本書冒頭の「著作権などに関するご注意」をよくお読みのうえ、お楽しみください。
■書き込みが途中で止まったりすることを避けるために、書き込み操作の前に次の準備をしてください。
- ACアダプターを接続する
- ディスク作成に関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する
- スクリーンセーバーを「なし」にする

■ 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

使用するディスクについて

CD-R	音楽CDの作成やデータのバックアップに使用します。容量が650MB(音楽74分相当)のものと、700MB(音楽80分相当)の2種類があります。再生に使用するCDドライブによっては、700MBのCD-Rを再生できない場合があります。 映像を納めたビデオCD（VCD）やスーパービデオCD（SVCD）の作成にも利用できます。ただし、ビデオCDやスーパービデオCDは、それぞれに対応したパソコンやDVDプレーヤーでしか再生できません。
CD-RW	CD-Rと同じ容量を持つディスクです。約1000回程度、書き込んだデータを消去して書き換えることができます。データのバックアップに適しています。音楽CDも作成できますが、CD-RWに対応したプレーヤーでしか再生できません。音楽CDはCD-Rで作成することをお勧めします。
DVD-R DVD+R	DVDビデオの作成やデータのバックアップに使用します。データの書き換えはできません。 ファイナライズ処理を行うと、市販のDVDプレーヤーでも再生できます。
DVD-RW DVD+RW	DVDビデオの作成やデータのバックアップに使用します。DVD-R、DVD+Rと同じ容量を持つディスクです。書き込んだデータを消去して、書き換えることができます。ファイナライズ処理を行うと、市販のDVDプレーヤーでも再生できます。市販のDVDプレーヤーには、DVD-RWやDVD+RWを再生できないものもありますので、注意してください。
DVD-RAM	約10万回、書き込んだデータを消去して、書き換えることができるディスクです。片面カートリッジ式、両面カートリッジ式、非カートリッジ式の3種類があります。DVDビデオとは異なった形式で映像を記録します。市販のDVDプレーヤーには、DVD-RAMに対応していないものもありますので、注意してください。

※ 動作確認済みのディスクについては、（取扱説明書）を参照してください。
※ 次のDVD-RAMは使用できません。
・片面2.6GBのDVD-RAM、両面5.2GBのDVD-RAM
・カートリッジから取り出せないタイプのDVD-RAM
※ CPRM対応DVD-RW、およびDVD-RAMに一回録画可能な番組を録画した場合、そのディスクはUlead DVD MovieWriter 4 SEでは追記/再編集はできません。

マイベストCDを作ろう

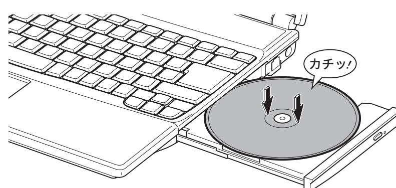
複数の音楽CDからお気に入りの曲だけを1枚のCD-Rにまとめた、マイベストCDを作成できます。

■準備するもの

未使用のCD-R　お気に入りの曲が入った音楽CD

- CD-RWでも、音楽CDを作成できます。ただし、CDプレーヤーがCD-RWに対応していない場合は、再生できません。音楽CDは、CD-Rで作成することをお勧めします。
- CD規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）の場合、音楽をパソコンに取り込むことができません。CDのパッケージや印刷物をよくお読みください。

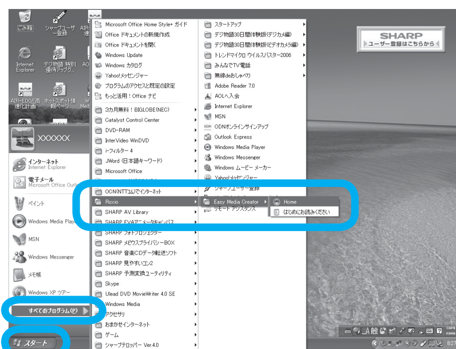
1 音楽ＣＤをCD/DVDドライブにセットします



音楽CDが認識され、「Windows Media Player」が起動して、再生が始まった場合、画面右上の☒をクリックし、「Windows Media Player」を閉じます。

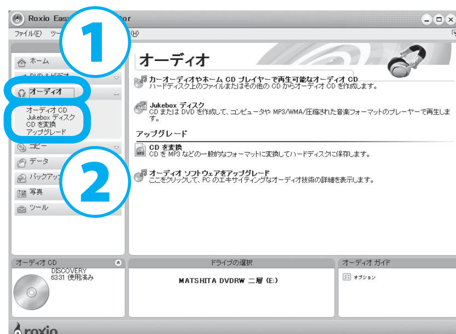
2 Roxio Easy Media Creatorを起動します

[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「Roxio」-「Easy Media Creator」-「Home」をクリック。



3 操作画面を表示します

① 画面左側の「オーディオ」タブをクリック。
② 「オーディオCD」をクリック。

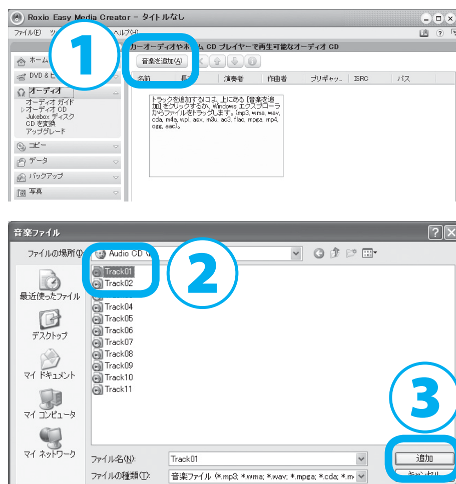


4 お気に入りの曲を取り込みます

① [音楽を追加]をクリック。
② 曲をクリックして選択。

> 複数の曲を取り込むときは、[Ctrl]を押しながら曲をクリックします。

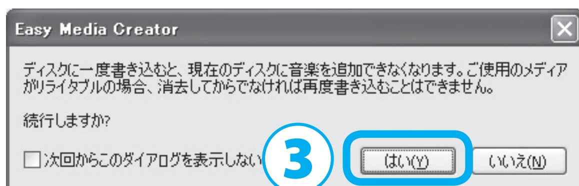
③ [追加]をクリック。
曲がパソコンに取り込まれ、画面右側に曲情報が表示されます。
④ 操作手順①～③を繰り返して、お気に入りの曲を取り込みます。



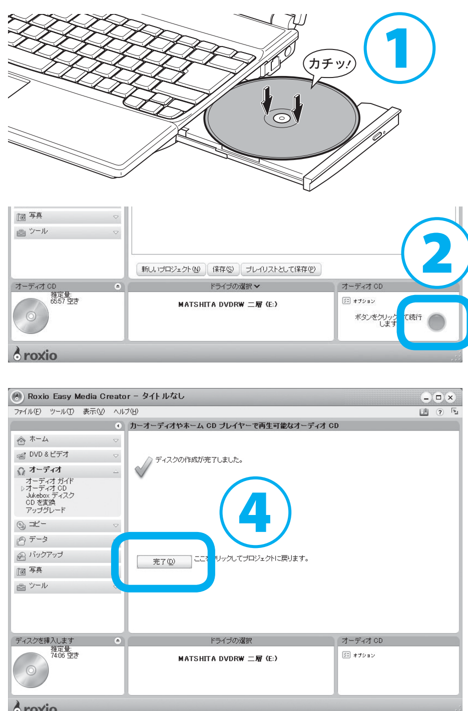
- 別の音楽CDと入れかえて①～③の操作を行い、別の音楽CDの曲を取り込むこともできます。
- 間違えて取り込んだときは、曲を選択して ✕ をクリックすると削除できます。
- 曲を選択して ⇧ ⇩ をクリックすると、曲の順番を変更できます。
- 「マイコンピュータ」から音楽CDのアイコンをドラッグ＆ドロップしても取り込むことができます。

5 CD-Rに書き込みます

① 音楽CDを取り出し、新しいCD-Rと入れ替える。
② ● をクリック。
③ 確認のメッセージが出たら[はい]をクリック。
CD-Rへの書き込みが始まります。



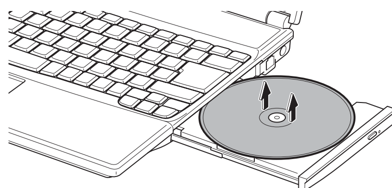
書き込みが終わると、自動的にCD/DVDドライブが開きます。
④ [完了]をクリック。



6 終了します

① CD-Rを取り出す。

② 画面右上の×をクリック。



- 「このプロジェクトには他のディスクからコピーされたファイルが含まれているため保存できません。・・・」と表示された場合は、[いいえ]をクリックしてください。
- 「現在のデータディスクプロジェクトを保存しますか？」と表示された場合は、[いいえ]をクリックしてください。

デジタルビデオカメラの映像をDVDにしよう

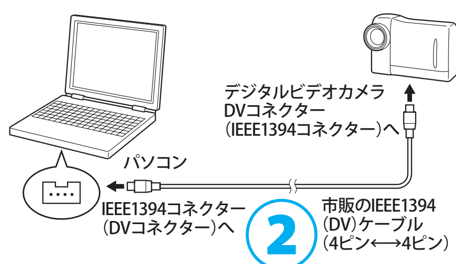
デジタルビデオカメラの映像を直接DVDに録画してDVDビデオを作成できます。
作成したDVDビデオは、市販のDVDプレーヤーで再生できます。

■準備するもの

- 未使用のDVD-RまたはDVD+R、デジタルビデオカメラ、IEEE1394（DV）ケーブル
- 録画したDVテープをデジタルビデオカメラに入れておく。

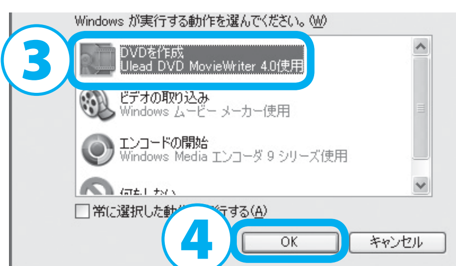
接続できないデジタルビデオカメラもあります。接続できるデジタルビデオカメラについては、メビウスのホームページ内サポート情報の機種別ページにて順次ご案内します。http://support.sharp.co.jp/mebius/

1 デジタルビデオカメラを接続します

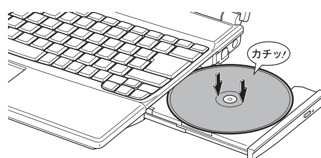


① デジタルビデオカメラを再生モードにする。
② IEEE1394（DV）ケーブルの一方をパソコンのIEEE1394コネクターに差し込み、もう一方をデジタルビデオカメラのDVコネクターに差し込む。

③「デジタルビデオデバイス」画面が表示されたら、「DVDを作成」をクリック。
④ ［OK］をクリック。
Ulead DVD MovieWriter 4 SEが起動します。

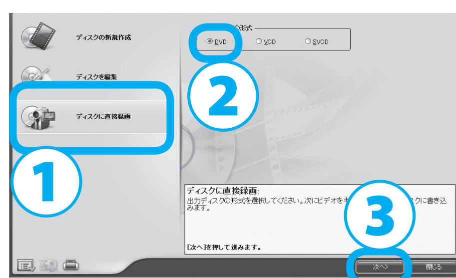


2 未使用のDVD-RまたはDVD+RをCD/DVDドライブに入れます



3 作成方法を選択します

① 「ディスクに直接録画」をクリック。
② 出力ディスク形式の項目の「DVD」をクリック。
③ ［次へ］をクリック。



4 録画します

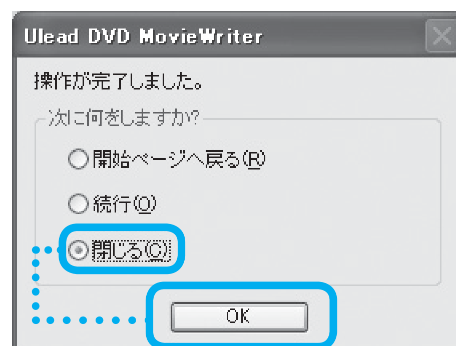
① 「DVDビデオ形式」をクリックし、[OK]をクリック。
② 「ソース」の▼をクリックし、接続した機器を選択。
③ 「キャプチャモード」で▼をクリックし、「フルDVテープ(ビットレート自動)」を選択。
④ をクリック。
収録時間を確認してディスク作成の条件を設定するために、DVテープが自動で巻き戻され、テープの先頭からオートスキャンが行われます。
その後、キャプチャおよびDVDの作成が自動で行われます。



HDV形式で記録された映像の取り込みには、対応していません。

5 終了します

終了のメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックし、[OK]をクリック。
CD/DVDドライブが開きます。



デジタルビデオカメラの取り外しについて
デジタルビデオカメラの電源を切り、IEEE1394(DV)ケーブルを取り外します。

ハードディスクに保存した映像をDVDにしよう

ハードディスクに保存している映像からDVDビデオを作成できます。作成したDVDビデオは、市販のDVDプレーヤーで再生できます。

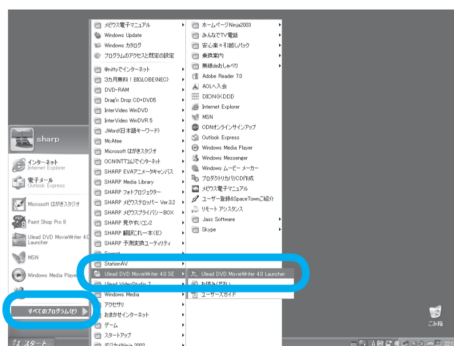
■準備するもの

未使用のDVD-RまたはDVD+R

1 DVD MovieWriter 4 SEを起動します

① [スタート]をクリック。

②「すべてのプログラム」-「Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE」-「Ulead DVD MovieWriter 4.0 Launcher」をクリック。



2 作成方法を選択します

「ビデオDVDの作成」をクリック。



3 作成するディスクの形式を選択します

「DVD-Video DVD+VRの新規作成」をクリック。



ハードディスクに保存した映像をDVDにしよう

4 DVDにする映像ファイルを選択します

① （アイコン）をクリック。

② 映像ファイルをクリック。
③ ［開く］をクリック。

映像リストに、選択した映像が追加されます。



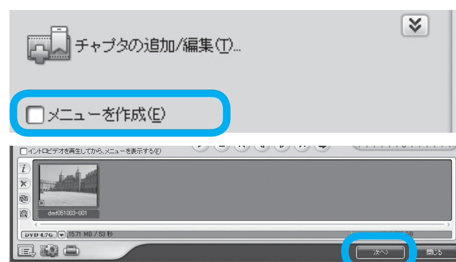


- ①～③の操作を繰り返して、複数の映像ファイルを追加することができます。
- 間違った映像ファイルを選択した場合は、映像リストの映像をクリックし、（×）をクリックして映像リストから削除します。

※映像リストの映像を削除しても、ハードディスクに保存している元の映像は削除されません。

5 メニューを作成するかどうかを指定して［次へ］をクリックします

この例では、メニューを作成しないので、☑ をクリックしてチェックマークを外します。

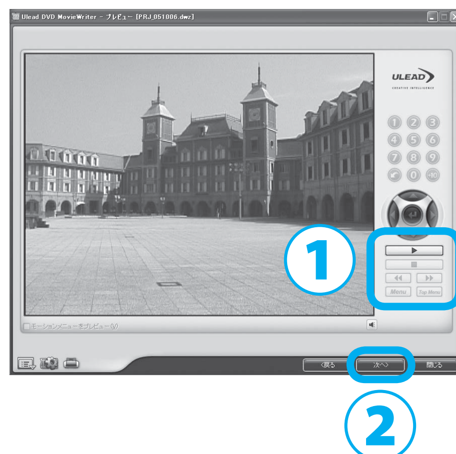


6 仕上がりの状態を確認します

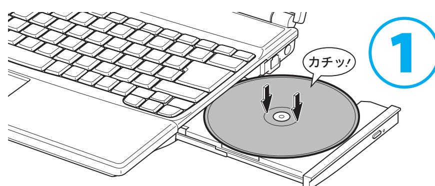
① 次のボタンを使用して、仕上がりを確認する。

- ▶ …映像の再生
- ❚❚ …再生の一時停止
- ■ …再生の停止

② ［次へ］をクリック。



7 ディスクへ書き込みます



① CD/DVDドライブにDVD-RまたはDVD+Rを入れる。

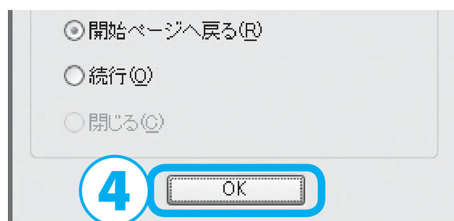
② 「ディスクへの書き込み」にチェックマークが付いていることを確認。



③ [書き込み]をクリック。

ディスクへの書き込みが行われます。
書き込みの進行状況が画面に表示されます。

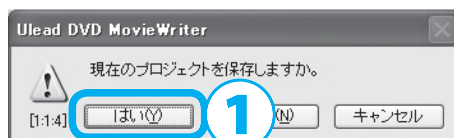
④ [OK]をクリック。

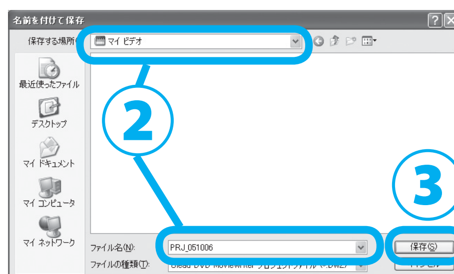


同じディスクをもう1枚作成するときなどに、「続行」を選択します。

8 作業内容を保存します

① [はい]をクリック。
② 保存場所とファイル名を指定。
③ [保存]をクリック。





作業内容を保存したファイルをプロジェクトファイルと呼びます。プロジェクトファイルを保存しておくと、そのファイルを読み込んで同じ内容のDVDを作成したり、追加の編集を行って別のDVDを作成したりすることができます。

9 Ulead DVD MovieWriter 4 SEを終了します

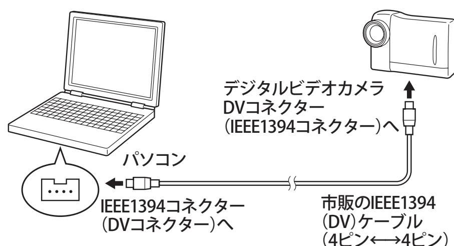
をクリック。



ハードディスクに保存した映像をDVDにしよう

デジタルビデオカメラの映像をハードディスクに保存するには

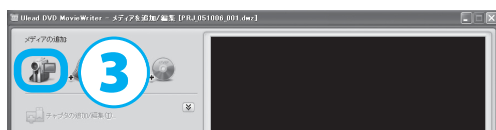
お使いのパソコンにIEEE1394コネクター（DVコネクター）がある場合、Ulead DVD MovieWriter 4 SEでデジタルビデオカメラの映像をハードディスクに保存することができます。ここでは概要を紹介します。



① 録画したDVテープをデジタルビデオカメラに入れ、保存する映像の開始位置までテープを進めて一時停止にしてからパソコンと接続。

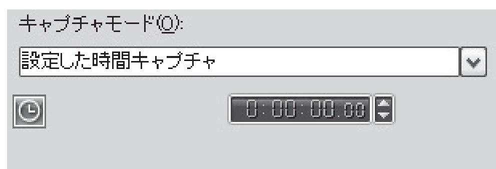
② Ulead DVD MovieWriter 4 SEで「ビデオDVDの作成」の「DVD-Video DVD+VRの新規作成」をクリック。

③ をクリックして、キャプチャ画面を表示。



④ キャプチャモードを「設定した時間キャプチャ」に設定。

時間は0:00:00:00のままにしておく。



⑤ をクリック。

メッセージが表示されたら、

［はい］をクリック。

Ulead DVD MovieWriter

ディスクまたはハードディスク上に 12:00:00 の空き領域があります。[はい]をクリックすると、これがデフォルトのキャプチャサイズ制限として設定され、キャプチャが開始されます。[いいえ]をクリックするとキャプチャがキャンセルされますので、キャプチャの長さを設定してからやり直してください。

はい(Y)　いいえ(N)

キャプチャが始まります。



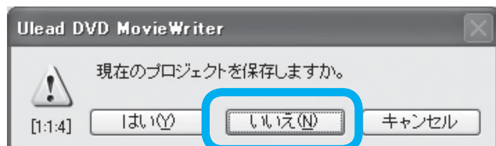
⑥ キャプチャを終わる場面で をクリック。

⑦ ［OK］をクリック。

⑧ ［閉じる］をクリック。

このときプロジェクトを保存する必要はありません。





映像ファイルは、「マイドキュメント」の「Ulead DVD MovieWriter 4 SE ¥キャプチャ」フォルダに保存されています。

Skype(スカイプ)で無料通話を楽しむ



Skype（スカイプ）とは、インターネットを利用して無料で通話できるソフトです。
ADSLや光ファイバーなどで常時接続されているパソコン同士で無料で通話ができます。無料だから、距離も通話時間も気にせず、遠くに住んでいる友達やおじいちゃん・おばあちゃん、海外の友人とのコミュニケーションに利用しましょう。お話したい相手にもぜひおすすめください。
Webカメラを接続すると、音声だけでなく自分の映像を通話相手に送ることもできます。

マイアカウントを登録する　47ページ

通話先を追加しよう　49ページ

通話をしよう　51ページ

Skype(スカイプ)で無料通話を楽しむ

Skypeを使う流れ

初めての場合

1. Skypeを起動。
2. マイアカウントを登録。
   「マイアカウント」(電話番号の代わり)を登録。
   相手に見える名前です。
3. 通話相手を登録。

通話する

1. Skypeを起動。
2. 通話したい相手を指定する。
3. 通話する。

Skypeを利用するために

Skypeは、パソコンで電話するのと同じことなので、マイクおよびイヤホン(ヘッドホン)、またはヘッドセットなどをご用意ください。
自分の映像を通話相手に送りたいときは、Webカメラもご用意ください。
ヘッドセットやWebカメラを初めて接続したとき、ヘッドセットやWebカメラに付属しているドライバーのインストールが必要な場合があります。

マイアカウントを登録する

Skypeのアカウントの設定と、音声の設定の確認を行います。

1 通話のためのヘッドセットなどを接続します

映像を送りたいときは、Webカメラも接続します。

ヘッドセットやWebカメラを初めて接続したとき、ヘッドセットやWebカメラに付属しているドライバーのインストールが必要な場合があります。

2 Skypeを起動します

① [スタート]をクリック。

②「すべてのプログラム」ー「Skype」ー「Skype」をクリック。

3 アカウントを設定します

①「アカウントを開設」をクリック。

② Skype名(6文字以上)を半角英数字で入力。
Skypeを利用するためのIDとなります。

③ パスワードを入力。確認のために2回入力します。

④「利用規約に同意して登録する」
をクリックしてチェックマークを付ける。

「Skype利用規約」をクリックすると、利用規約が表示されます。必ず確認してください。

⑤[ログイン]をクリック。

4 プロフィールを設定します

① 氏名を入力。
ここで入力した名前が相手に見えます。

ここで入力した内容は、全世界に公開されます。大切な情報や公開したくない情報は入力しないようにしましょう。

② [次へ]をクリック。
Skype開始ウィザードが表示されますが、ここでは ☒ をクリックして閉じてください。

5 映像と音声のテストをします

Webカメラを接続していない場合は、手順④へ進んでください。

① [Webカメラのテスト]をクリック。

② 映像が正しく映っていることを確認。

③ [閉じる]をクリック。

④「Skype通話音声テスト」が選択されていることを確認。





⑤ をクリック。



⑥ 音声指示に従ってマイクから音声を録音。

⑦ 正しく再生されることを確認。



通話先を追加しよう

Skypeを利用して通話するには、通話相手とお互いに登録が必要です。

通話相手を登録する流れ

あなた
コンタクトリストへ通話相手を登録。 →

通話相手
① 登録したことを知らせるメッセージが届く。
② 登録を承認。

通話相手
コンタクトリストへ通話相手を登録。 →

あなた
① 登録したことを知らせるメッセージが届く。
② 登録を承認。

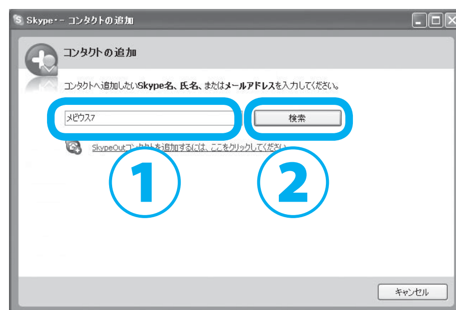
1 「コンタクトの追加」をクリックします



2 通話相手の情報を検索します

① 入力欄に追加する人のSkype名、氏名、メールアドレスのいずれかを入力。

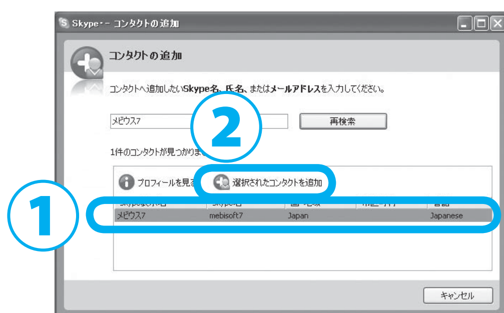
② [検索]をクリック。
入力した語句を含むSkypeユーザーが検索されます。



通話先を追加しよう

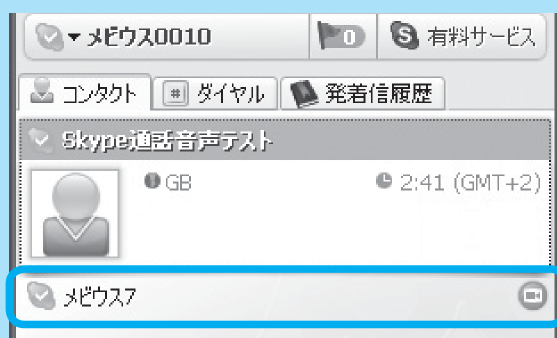
3 通話相手を追加します

① 通話相手を選択。
②「選択されたコンタクトを追加」をクリック。
③ [OK]をクリック。
相手に承認とコンタクトへの追加を依頼するメッセージが送信されます。





追加した通話相手は、「コンタクト」タブに次のように表示されます。

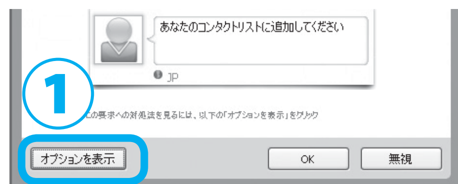


承認の依頼が送られてきたら

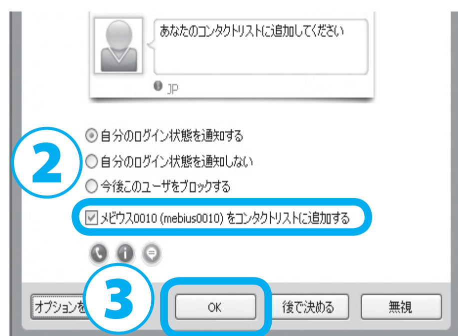
Skypeでは､お互いに承認している相手とだけ通話ができます。
承認とコンタクトへの追加を依頼するメッセージが送られてきたら､次の操作で承認します。

1 通話相手として承認します

①[オプションを表示]をクリック。



②「…をコンタクトリストに追加する」にチェックマークを付ける。
③ [OK]をクリック。



「今後このユーザをブロックする」を選択した場合は、この相手とは通話できません。

通話をしよう

コンタクトリストに登録している人と通話します。

発信する

1 通話相手を指定します

①「コンタクト」タブをクリック。

② 通話相手をクリック。

オンラインの状態（インターネットに接続してSkypeを起動している状態）の人と通話できます。コンタクトリストの氏名の前に緑色の が表示されている人は、オンラインの状態の人です。

③ をクリック。



2 通話します

相手が着信の操作を行うと、「接続中」の表示が消えて通話時間が表示されます。
通話をします。

通話を終わるときは、をクリックします。
相手が通話を終わったときには、クリックする必要はありません。

Webカメラから自分の映像を相手に送りたいときは、「ビデオを開始」をクリックします。

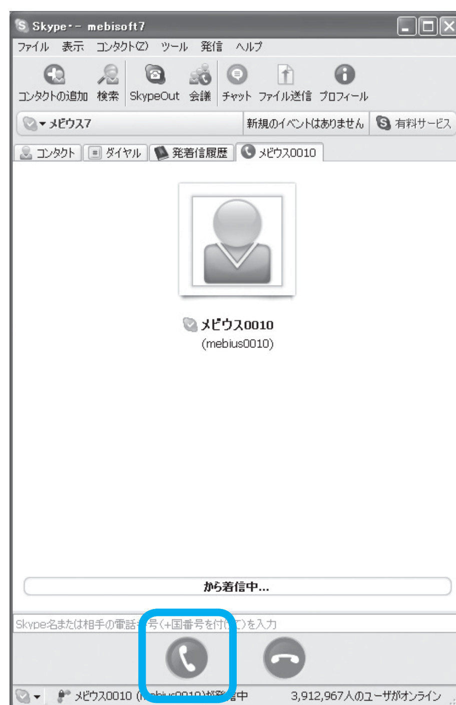


通話をしよう

着信に応える

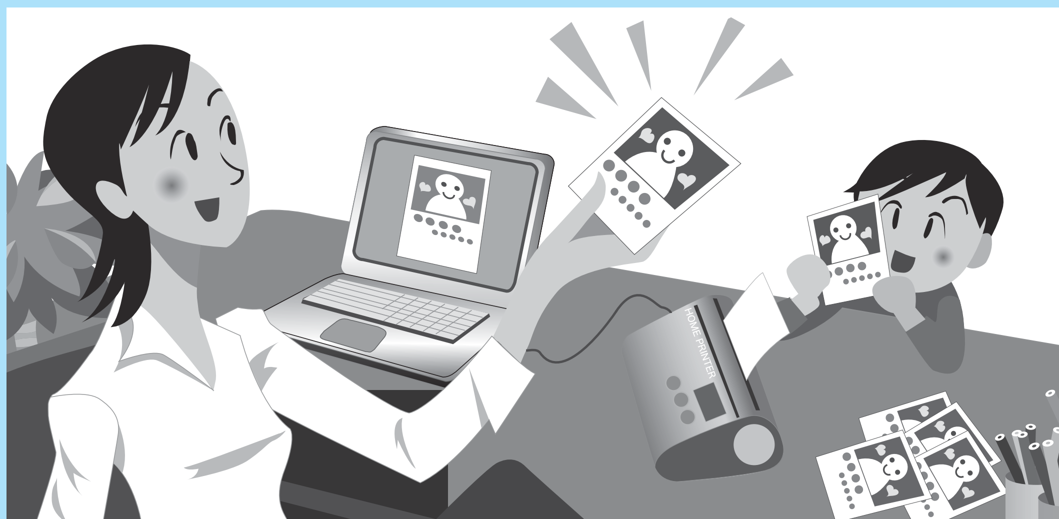
1 **着信の画面が表示されたら をクリックして通話します**

通話を終わるときは、 をクリックします。
相手が通話を終わったときには、クリックする必要はありません。



- USBタイプのマイクやスピーカー（イヤホン）で通話できないときは、Skypeの設定を変更してください。
  ①「ツール」メニューの「設定」をクリック。
  ②左側の欄から「オーディオデバイス」をクリック。
  ③「オーディオ入力」「オーディオ出力」「呼び出し音」をUSBのサウンドデバイスに変更。
- USBタイプのマイクやスピーカー（イヤホン）を接続して、内蔵スピーカーから音声が出ないときは、オーディオデバイスの設定を変更してください。
  ①タスクバーの を右クリック。
  ②「オーディオプロパティの調整」をクリック。
  ③[オーディオ]タブをクリック。
  ④「音の再生」「録音」の項目を内蔵のサウンドデバイスに変更。
  デバイス名はお使いのパソコンにより異なります。
- モデムやワイヤレスLANなどの通信環境によっては、音飛びや映像のコマ落ちが発生する場合があります。
- スタンバイや休止状態に移行するときは、必ずオフライン状態にしてください。
  オンライン状態のままスタンバイ、休止状態へ移行すると、復帰後に通話ができないことがあります。
- 通話相手の声が小さい場合は、音量を調節してください。
  音量の調節については、取扱説明書 の「音量を調節する」を参照してください。
- 自分の声が相手に聞こえない場合は、オーディオデバイスの設定を調整してください。
  ①タスクバーの を右クリック。
  ②「オーディオプロパティの調整」をクリック。
  ③[オーディオ]タブをクリック。
  ④「録音」の「音量」をクリック。
  ⑤「マイク」の「選択」にチェックマークが付いていることを確認して、音量を調節。

年賀状を作る



Microsoft はがきスタジオ Basic（以下「はがきスタジオ Basic」と表記します。）を使って、年賀状を作ります。

年賀状をデザインしよう	55ページ	はがきスタジオ Basic
差出人を登録しよう	58ページ	はがきスタジオ Basic
宛先を登録しよう	59ページ	はがきスタジオ Basic
印刷しよう	60ページ	はがきスタジオ Basic
以前に作ったデザインや住所録を修正する	64ページ	はがきスタジオ Basic
別のはがき作成ソフトの住所録を利用しよう	66ページ	はがきスタジオ Basic

年賀状を作る

はがきスタジオ Basicでの操作の概要

最初に、はがきスタジオ Basicの起動から終了までの操作の概要を紹介します。

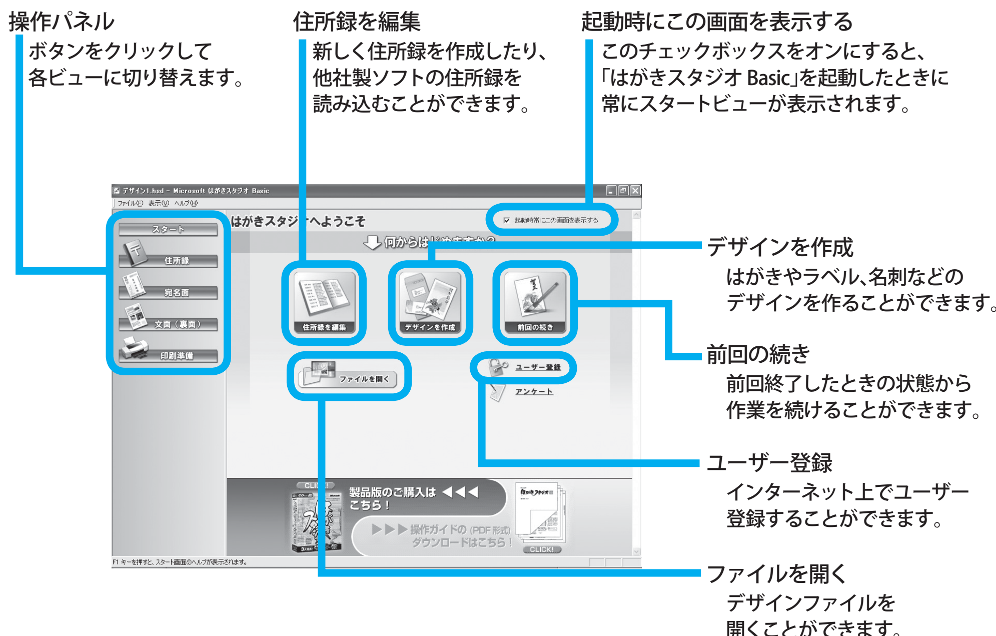
■はがきスタジオ Basicを起動する

［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Microsoft はがきスタジオ」－「Microsoft はがきスタジオ」をクリックします。
はじめて起動するときは、使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容を読み、同意される場合は［同意する］をクリックすると、下の画面（スタートビュー）が表示されます。

■年賀状を作る

本文デザインや宛先用の住所録、差出人などを作ります。

■はがきスタジオ Basicの画面



■印刷する

作成した本文デザインや宛先をはがきに印刷します。

■保存する

作成した本文デザインや宛先を保存します。

- はがきスタジオ Basicについて詳しくは、ヘルプを参照してください。ヘルプは「ヘルプ」メニューをクリックし、「Microsoft はがきスタジオ ヘルプ」をクリックすると表示されます。
- はがきスタジオ Basicに関しては、マイクロソフト株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、「**パソコン電子マニュアル**」の「お問い合わせ先一覧」（☞10ページ）でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

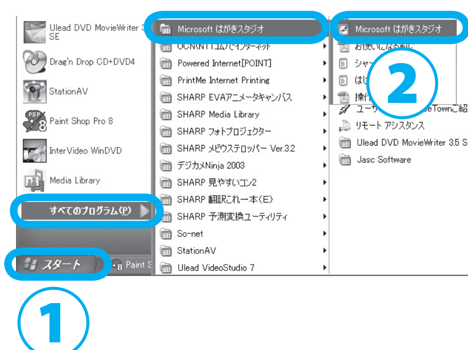
年賀状をデザインしよう

年賀状の裏面(文面)をデザインします。
ここでは、ひな形のデザインを利用して、写真入り年賀状を作成する方法を説明します。

1 はがきスタジオ Basicを起動します

① [スタート]をクリック。
② 「すべてのプログラム」ー「Microsoft はがきスタジオ」ー「Microsoft はがきスタジオ」をクリック。

はじめて起動するときは、使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容を読み、同意される場合は[同意する]をクリックします。



2 [デザインを作成]をクリックします

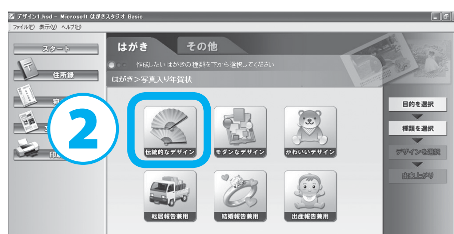
右の画面(スタートビュー)が表示されていない場合は、画面左上の[スタート]をクリックすると表示されます。
すでにデザインが作られている場合は、メッセージが表示されます。(☞64ページ)



3 デザインを選択します

① [写真入り年賀状]をクリック。
② [伝統的なデザイン]をクリック。





③ 使用するデザインをクリック。

表示されるデザインは、お使いのパソコンにより異なることがあります。

④ [このデザインを使う]をクリック。

ここでは、写真は後で差し替えますので、写真を差し替えるかどうかをたずねるメッセージが表示されたら、[後で差し替える]をクリックします。



年賀状をデザインしよう

4 文章を変更します

① 変更する文章をドラッグして選択。
② 変更後の文章を入力。

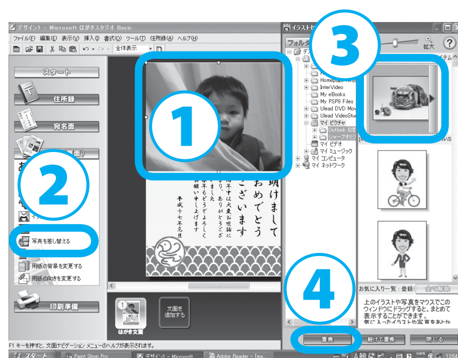
フォント、スタイル、大きさを変えることができます。文章を選択し、「文字の書式」作業ウィンドウの[書式]タブで変更したい項目をクリックします。



5 写真を差し替えます

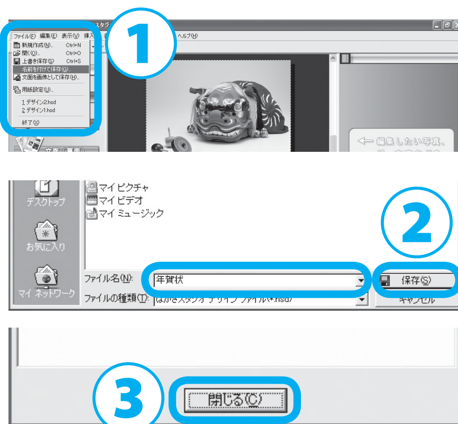
「マイ ピクチャ」に保存している写真と差し替える場合を例に説明します。
あらかじめ、年賀状に使いたい写真をマイピクチャに保存しておきます。

① 写真をクリック。
②[写真を差し替える]をクリック。
③ 差し替える写真をクリック。
④ [置換]をクリック。



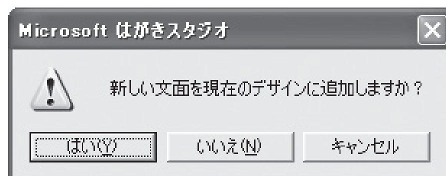
6 保存します

①「ファイル」–「名前を付けて保存」をクリック。
② ファイル名を入力して[保存]をクリック。
③ [閉じる]をクリック。



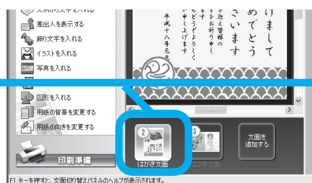
すでにデザインが作られている場合

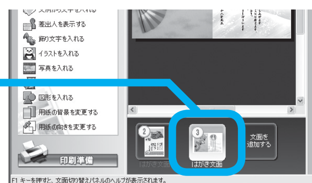
- デザインは、一つのファイルに複数作ることができます。保存した後、手順2から繰り返すことで作ります。例えば、大人用と子供用のデザイン、個人用と会社用のデザインを一つのファイルで管理することができます。
- すでにデザインが作られている場合は、手順3の①で右の画面が表示されます。これから作るデザインを一緒に保存・管理したいときは［はい］をクリックし、別のファイル名で保存・管理したいときは、［いいえ］をクリックしてください。
はがきスタジオを起動したときには、前回保存したファイルが自動的に読み込まれますので、起動後初めてデザインを作成するときにもこの画面が表示されることがあります。



- 一緒に保存した場合、切り替えパネルのサムネイルをクリックすることで、作業するデザインを選ぶことができます。





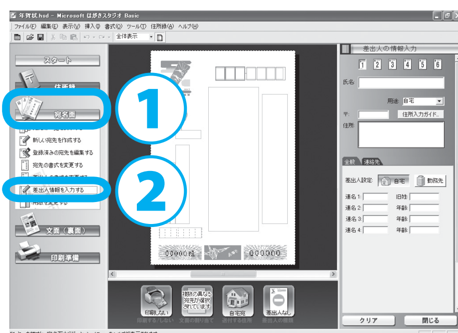


差出人を登録しよう

差出人（自分や家族など）の情報を登録しておきます。6つまで登録でき、はがきの内容によって記載する差出人情報を使い分けることができます。

1 宛名面を表示します

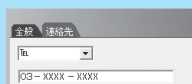
① ［宛名面］をクリック。
②「差出人情報を入力する」をクリック。



2 差出人の情報を入力します

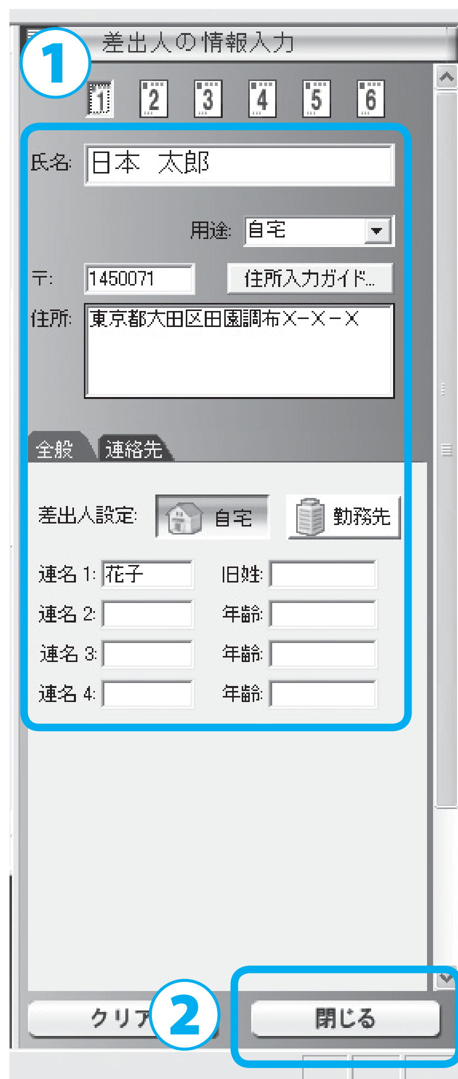
① 各項目を入力。

- 氏名は必ず入力してください。
  連名の名前の位置を揃えるため、姓と名の間にスペース（全角または半角）を入力してください。
- 連名とは、差出人と一緒に並べて記載する名前（家族の名前など）のことです。
- 郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」欄に自動的に入力されます。番地を追加して住所欄を完成させます。
- 必要に応じて「連絡先」タブをクリックして、電話番号等を入力します。



  選択した入力項目名（上の例では「TEL」）は、そのままはがきに記載されます。
- 1 2 3 4 5 6 の1～6をクリックし、それぞれに異なった差出人情報を入力して、印刷時に使い分けることができます。
- ［クリア］をクリックすると、入力した情報（1 2 3 4 5 6 の内の入力中のカード）がすべて削除されます。

② ［閉じる］をクリック。
入力した情報が確定情報として登録されます。



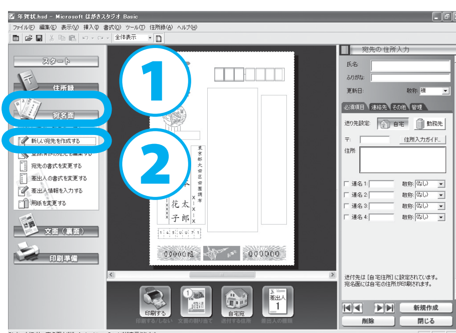
宛先を登録しよう

送り先の名前と住所を登録します。送り先の住所を登録しておくと、年賀状以外でも利用できます。また、別のはがき作成ソフトの住所録を利用することもできます。（☞66ページ）

1 宛名面を表示します

① [宛名面]をクリック。

②「新しい宛先を作成する」をクリック。



2 宛先の情報を入力します

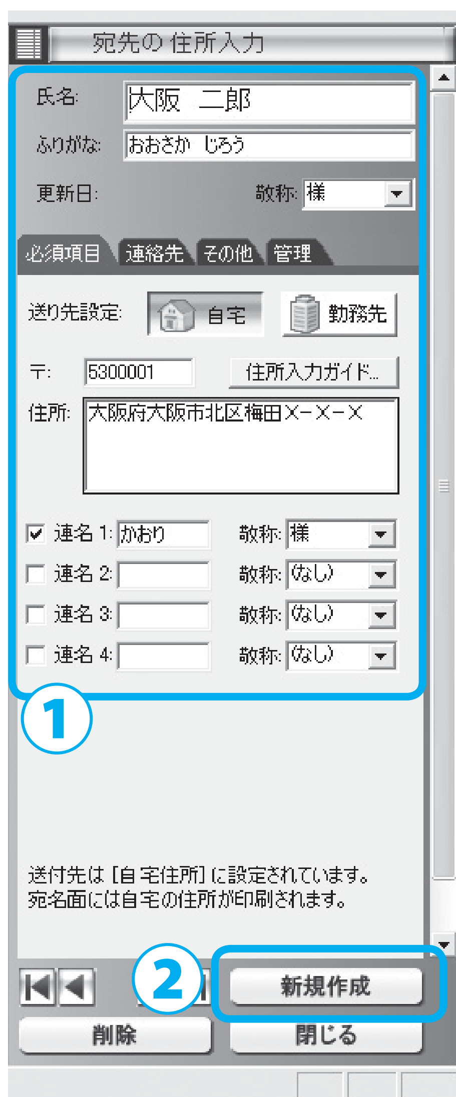
① 各項目に入力。

- 氏名は必ず入力してください。
  連名の名前の位置を揃えるため、姓と名の間にスペース（全角または半角）を入力してください。
- 連名とは、差出人と一緒に並べて記載する名前（家族の名前など）のことです。
- 氏名を入力すると、ふりがなが自動入力されます。必要に応じて修正します。
- 郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」欄に自動的に入力されます。番地を追加して住所欄を完成させます。
- 必要に応じて「連絡先」「その他」「管理」の各タブをクリックして、入力してください。
- [削除]をクリックすると、表示中の宛先がまるごと削除されます。

② [新規作成]をクリック。

入力した宛先が確定情報として登録され、続けて次の宛先を入力するための空白の画面に変わります。

続けて宛先を入力しない場合は、[閉じる]をクリックします。



印刷しよう

はがきを印刷するには、使用しているパソコンでプリンターが使用できるようになっている必要があります。印刷を始める前に、プリンターの準備ができていることを確認してください。
はがきの印刷の流れは、次のようになります。

テスト印刷する → 宛先を指定する → 印刷前にエラーをチェックする → はがきに印刷する

テスト印刷する

宛名面のテスト印刷を行います。テスト印刷後、必要に応じて印刷位置の微調整を行います。

1 印刷準備画面を表示します

① [印刷準備]をクリック。
②「宛名面を印刷する」をクリック。

文面（裏面）をテスト印刷するときは、[文面（裏面）を印刷する]をクリックします。

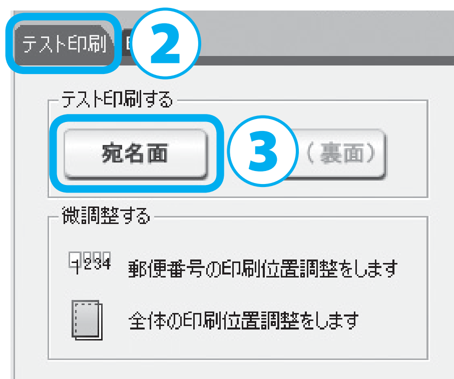


2 テスト印刷します

① プリンターに、テスト印刷用の用紙をセット。

宛名面が印刷されるようにセットします。

②「テスト印刷」タブをクリック。
③ [宛名面]をクリック。
テスト印刷が始まります。



印刷位置を微調整するには

- 宛名用と差出人用の郵便番号の印刷位置を微調整するには、「テスト印刷」タブの 1234（郵便番号の印刷位置調整をします）をクリックします。「郵便番号の位置調整」画面で、郵便番号欄の数字をドラッグして、テスト印刷の結果と同じ位置までずらします。「縦位置」「横位置」の▲▼をクリックして調整することもできます。
- はがき全体の位置を微調整するには、（全体の印刷位置調整をします）をクリックします。「デザインの位置調整」画面で、テスト印刷の結果を参考にしながら「デザインイメージ」をドラッグするか、「縦位置」「横位置」の▲▼をクリックして調整してください。

宛先を指定する

宛先の一覧で印刷する人を指定します。

1 宛先を一覧表示します

① [宛名面]をクリック。

②「宛先の一覧を表示する」をクリック。



2 宛先を指定します

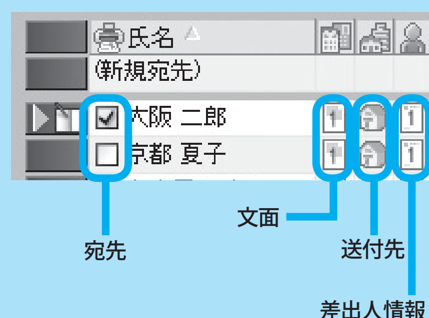
印刷する宛先にチェックマークを付ける。

- クリックするたびにチェックマークが付いたり消えたりします。
- インデックスをクリックすると、名前の読みが「あ行」「か行」など、インデックスに該当する人だけが表示されますので、送付対象の人を効率よく探すことができます。
- 名前の読みで検索して、送付対象の人を絞り込むこともできます。



送付先、差出人および文面の印刷内容も指定できます

- 自宅以外に勤務先も入力している宛先の場合は、送付先アイコンをクリックして印刷する送付先を切り替えることができます。
  は自宅、は勤務先を表します。
- 差出人情報を2つ以上入力している場合は、差出人情報のアイコンをクリックして切り替えることができます。
  が表示されているときには、はがきに印刷されません。
- 文面のデザインを2つ以上含むファイルの場合は、文面のアイコンをクリックして切り替えることができます。
  表示されているときには、はがきに印刷されません。



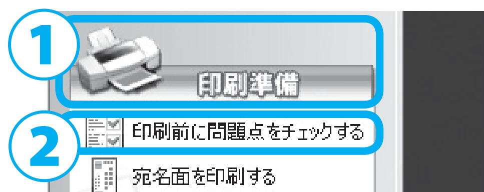
メビウスでできることを確認する
音楽や映像を楽しむ
音楽CDやDVDを作る
Skypeで無料通話を楽しむ
年賀状を作る
パソコンのデータを管理する

印刷しよう

エラーをチェックする

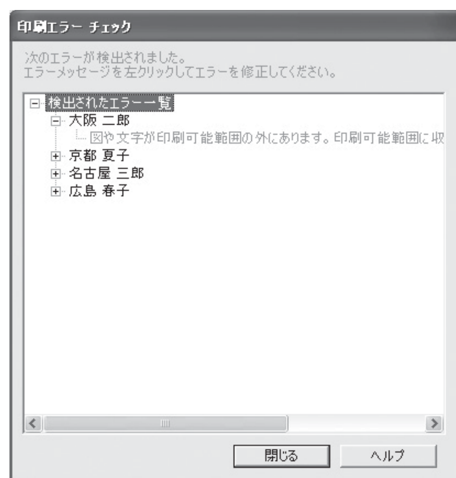
印刷する前に、エラーがないか確認することができます。

1 エラーをチェックします



① [印刷準備]をクリック。
②「印刷前に問題点をチェック」をクリック。

2 エラー内容を確認します



- エラーがあった場合は、右のような画面が表示されます。
- エラーがなかった場合は、「エラーはありません。印刷が行えます。」とメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。
- 検出されたエラー一覧の ⊞ をクリックすると、エラーを含む宛先が表示されます。

  宛先の前の ⊞ をクリックすると、エラーメッセージが赤色の文字で表示されます。
- エラーメッセージをクリックすると、エラーが発生している編集画面に切り替わります。必要に応じて修正してください。
- エラーの中には、問題のないもの(たとえば、印刷可能範囲から図の透明な部分がはみ出している場合など)もあります。

はがきの印刷可能範囲とふちなし印刷について

- 宛名面画面や文面(裏面)画面で点線で囲まれた内側がプリンターで印刷される範囲です。この印刷可能範囲は、プリンターによって異なります。
- ふちなし印刷に対応したプリンターの場合、プリンターの設定を変えると、印刷可能範囲を文面(裏面)いっぱいまで広げることができます。設定方法はプリンターのマニュアルを参照してください。

  キヤノン製またはエプソン製ふちなし印刷対応プリンターを標準プリンターとして使用している場合は、はがきスタジオ Basicが自動でふちなしの設定を行うので、特別な操作は必要ありません。
- 宛名面を印刷する場合は、はがきスタジオ Basicを起動するときにプリンターの設定がふちなしになっていると、郵便番号などの位置がずれることがあります。プリンターのふちなし設定をオフにしてからはがきスタジオ Basicを起動し、宛名面を印刷してください。



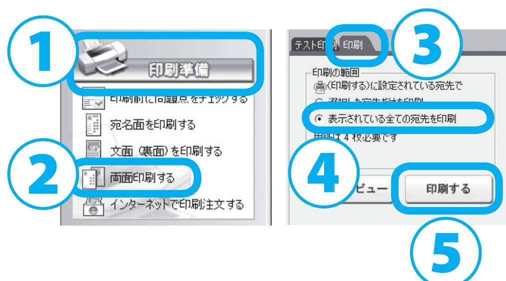
印刷可能範囲を示す点線

はがきに印刷する

「宛名面を印刷する」、「文面(裏面)を印刷する」、「両面印刷する」の3通りの方法で印刷できます。
いずれの場合も、画面からの指示に従って操作を進めることができます。
ここでは、両面印刷を例に説明します。

1 印刷方法を選択します

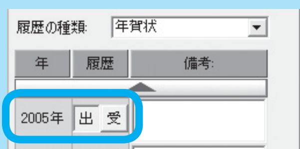
① [印刷準備]をクリック。
② 「両面印刷する」をクリック。
③ 「印刷」タブをクリック。
④ 「表示されている全ての宛先を印刷」をクリック。
⑤ [印刷する]をクリック。

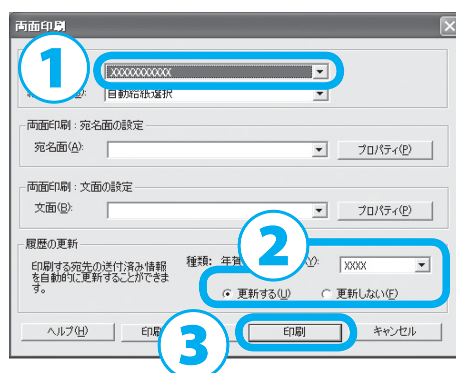


2 印刷します

① プリンターを選択。
② 送付情報の履歴の更新をする/しないを設定。

履歴を更新すると、宛先の[管理]タブの履歴が更新され、該当年のはがきを出したことになります。





③ [印刷]をクリック。
印刷が開始されます。

- 履歴を更新できるのは
  はがきの種類が「年賀はがき」または「暑中見舞い」のときだけです。
- 紙詰まりなどが起きたときは
  印刷中に紙詰まりやインク切れを起こしてしまった場合は、お使いのプリンターの取扱説明書を参照して、適切な処置を行ってください。
- 画面の色と出力された色が違うときは
  まれに、宛名面の文字がグレーになるなど、画面上で指定した色と印刷した色が異なることがあります。
  そのような場合は、お使いのプリンターのプリンタードライバーの設定をご確認ください。
- 自動両面印刷対応のプリンターで印刷するには
  自動両面印刷対応のプリンターで印刷する場合は、「印刷準備」画面の「印刷」タブで「自動両面印刷する」の項目にチェックマークを付けてください。

以前に作ったデザインや住所録を修正する

デザインを開く

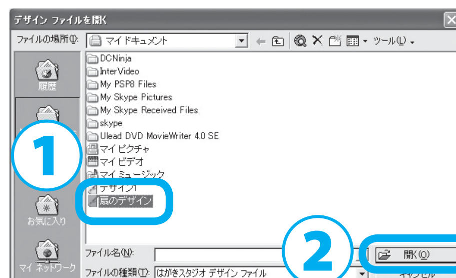
以前に保存したデザインを修正するときは、次の操作でファイルを開きます。

1 [スタート]をクリックし、[ファイルを開く]をクリックします



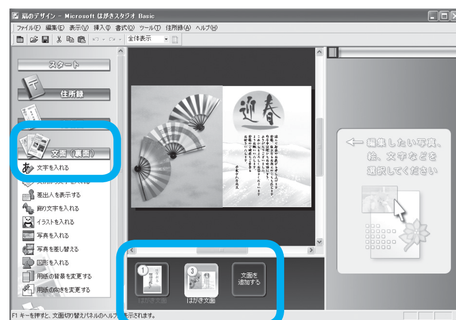
2 デザインファイルを選択します

① 修正したいデザインファイルをクリック。
② [開く]をクリック。



3 操作パネルの[文面](裏面)をクリックします

複数のデザインがあるときは、切り替えパネルのサムネイルで修正するデザインをクリック。

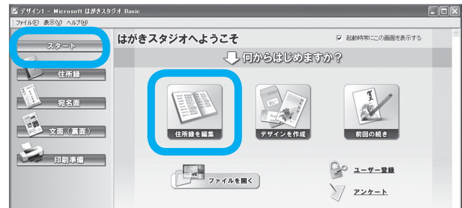


以前に作ったデザインや住所録を修正する

住所録を開く

名前を付けて保存しておいた住所録を使用するには、次の操作で開きます。

1 [スタート]をクリックし、[住所録を編集]をクリックします



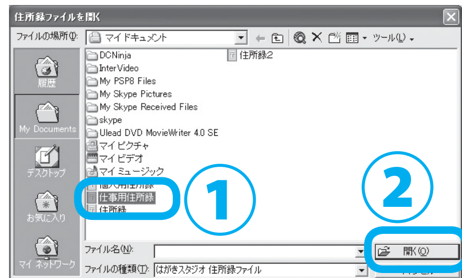
2 [住所録を開く]をクリックします

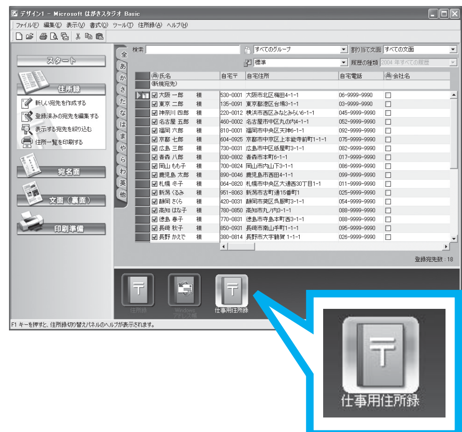


3 住所録ファイルを選択します

① 修正したい住所録ファイルをクリック。

② [開く]をクリック。
住所録が開き、画面の切り替えパネルにサムネイルが表示されます。





別のはがき作成ソフトの住所録を利用しよう

「はがきスタジオ Basic」の住所録には、以下のデータを取り込むことができます。
あらかじめ、以下のファイル形式で保存して、このパソコンにコピーしておいてください。

作成したアプリケーション	ファイルの種類
他のはがき作成ソフト	ContactXML形式のファイル CSV形式(カンマ区切り形式)のファイル XML形式のファイル
Microsoft Excel	CSV形式(カンマ区切り形式)のファイル XLS形式のファイル
Microsoft Access	MDB形式のファイル
Outlook 98/2000/2002/2003	連絡先のデータ
Outlook Express	アドレス帳

- 「はがきスタジオ Basic」で取り込めるContactXML形式の住所録データは、「筆まめver.13/ver.14」「筆王2003/2004」「筆ぐるめ ver.10/ver.11」「宛名職人2003/2004」の住所録データです。
- これ以外のバージョンで作成した住所録データを取り込むには、元のデータを元のアプリケーションソフトでCSV/XLS/MDB形式で保存したあと、「Excelで作成した住所録ファイルを取り込む」と同様の方法で、取り込むことができます。

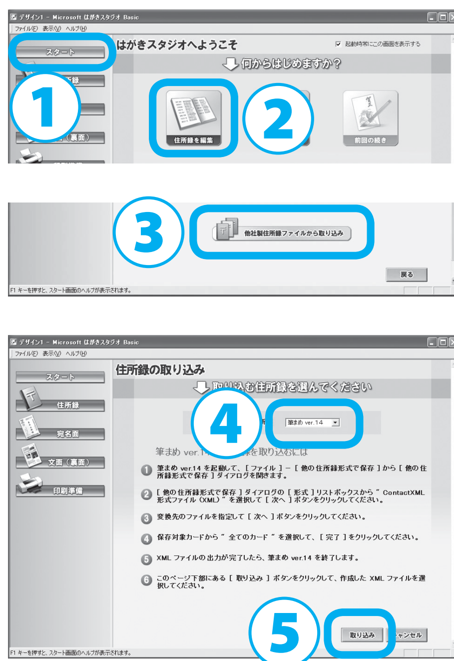
ここでは、他のはがき作成ソフトで作成したContactXML形式のファイル、およびExcelで作成した住所録ファイル(.xls)を取り込む方法を説明します。取り込むファイルは、あらかじめこのパソコンにコピーしておいてください。

他のはがき作成ソフトの住所録を取り込む

他のはがき作成ソフトの住所録を、あらかじめContactXML形式のファイルとして保存しておいてください

1 取り込み操作を開始します

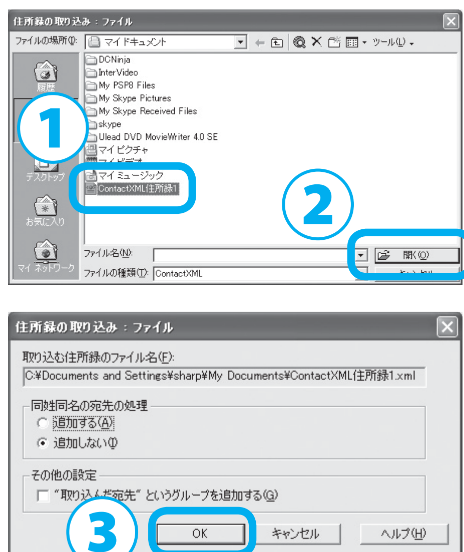
① [スタート]をクリック。
② [住所録を編集]をクリック。
③ [他社製住所録ファイルから取り込み]をクリック。
④ 「取り込む住所録」で取り込むはがき作成ソフトとそのバージョンを選択。
⑤ [取り込み]をクリック。



2 ファイルを指定して取り込みます

① あらかじめ用意した住所録ファイルをクリックして選択。
② [開く]をクリック。
③ [OK]をクリック。

ContactXML形式のファイルが「はがきスタジオ Basic」の住所録ファイルに変換され、住所録ビューに表示されます。ただし、名前が入力されていないデータは「はがきスタジオ Basic」では取り込めません。



別のはがき作成ソフトの住所録を利用しよう

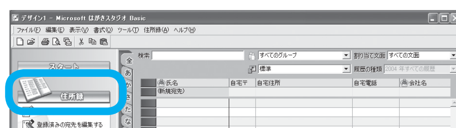
xls形式やcsv形式の住所録データを取り込む

Microsoft Excelで作成したxls形式またはcsv形式のデータを取り込みます。

● 他のはがき作成ソフトで作成したCSV(カンマ区切り)形式のファイルも同じ方法で取り込むことができます。

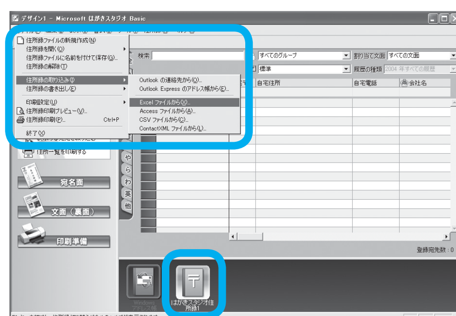
1 取り込み操作を開始します

① [住所録]をクリック。



複数の住所録を使用している場合は、切り替えパネルのサムネイルをクリックして追加先の住所録に切り替えます。

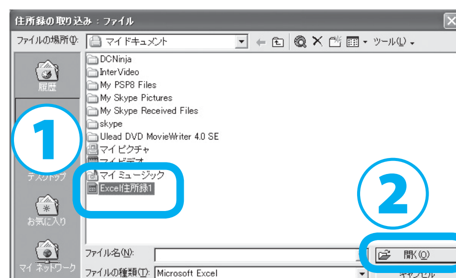
② [ファイル]をクリックし、「住所録の取り込み」ー「Excelファイルから」をクリック。



CSVファイルの場合は、「CSVファイルから」をクリックします。

2 ファイルを指定します

① あらかじめ用意したExcelファイル(.xls)をクリック。
② [開く]をクリック。



3 取り込むデータの項目を対応づけて、取り込みます

① [項目の対応づけ]をクリック。

② 住所録の項目と取り込むデータの項目を対応づける。

例：次のExcelファイルでの対応づけ

	A	B	C	D	E
1	姓	名	〒	住所	電話
2	大阪	一郎	530-0001	大阪市北区梅田X-X-X	06-XXXX-XXXX
3	東京	二郎	135-0091	東京都港区台場X-X-X	03-XXXX-XXXX
4	神奈川	四郎	220-0012	横浜市西区みなとみらいX-X-X	045-XXXX-XXXX

1 「先頭行に項目名が入力されている」と「氏名のデータが姓と名の項目に分割されている」にチェックマークを付ける。

取り込む住所録データの種類
☑ 先頭行に項目名が入力されている(I)
☑ 氏名のデータが姓と名の項目に分割されている(F)
☐ 住所のデータが複数の項目に分割されている(C)

2 はがきスタジオ Basicの項目をクリック。
例：氏名(姓)

Microsoft はがきスタジオ
項目の一覧(D):
項目名 対応づけ
氏名(姓)
氏名(名)
ふりがな(姓)

3 対応するExcelファイルの項目をクリック。
例：姓

取り込む住所録データ
項目の一覧(S):
項目名 内容
姓 大阪
名 一郎
〒 530-0001

4 [設定]をクリック。

前へ(P) 次へ(N) 設定(A)

はがきスタジオ Basicの項目の一覧の「対応づけ」の欄に「姓」と表示されます。

Microsoft はがきスタジオ
項目の一覧(D):
項目名 対応づけ
氏名(姓) 姓
氏名(名)
ふりがな(姓)

他の項目についても1～4の操作を行います。

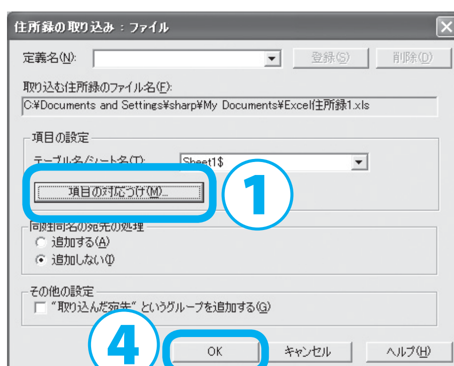
③ [OK]をクリック。

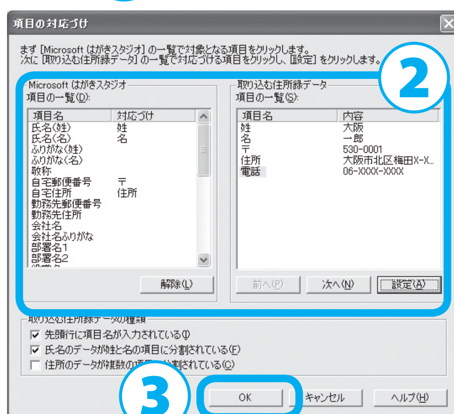
④ [OK]をクリック。

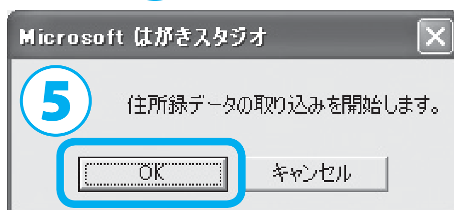
⑤ [OK]をクリック。

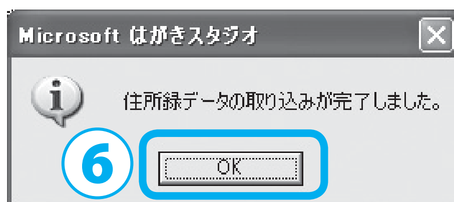
⑥ [OK]をクリック。

データが取り込まれます。





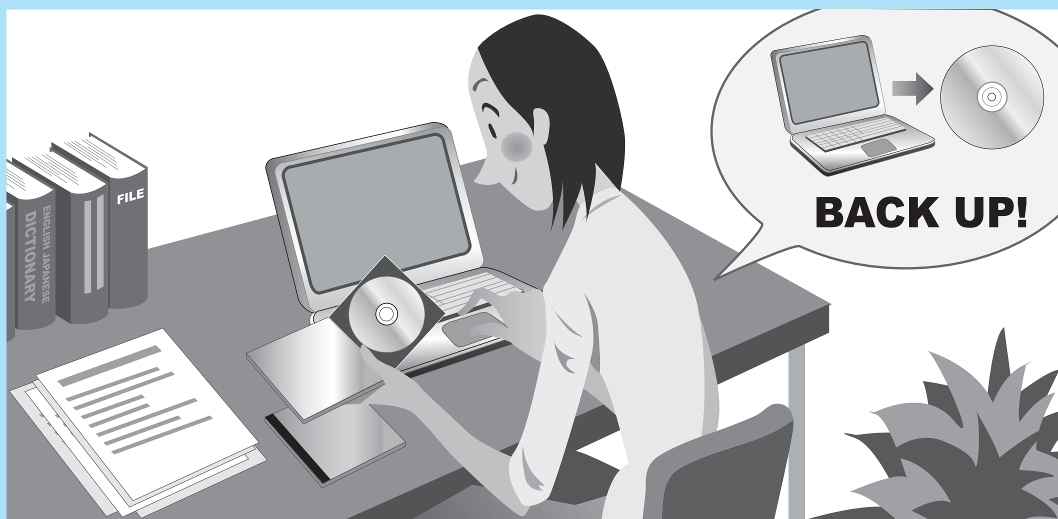




取り込まれた画面の例

	A	B	C	D	E
1	姓	名	〒	住所	電話
2	大阪	一郎	530-0001	大阪市北区梅田X-X-X	06-XXXX-XXXX
3	東京	二郎	135-0091	東京都港区台場X-X-X	03-XXXX-XXXX
4	神奈川	四郎	220-0012	横浜市西区みなとみらいX-X-X	045-XXXX-XXXX
5	名古屋	五郎	460-0002	名古屋市中区丸の内X-X-X	052-XXXX-XXXX
6	福岡	六郎	810-0001	福岡市中央区天神X-X-X	092-XXXX-XXXX
7	京都	七郎	604-0925	京都市中京区上本能寺前町X-X-X	075-XXXX-XXXX
8	広島	三郎	730-0031	広島市中区紙屋町X-X-X	082-XXXX-XXXX
9	青森	八郎	030-0802	青森市本町X-X-X	017-XXXX-XXXX
10	岡山	もも子	700-0824	岡山市内山下X-X-X	086-XXXX-XXXX
11	鹿児島	太郎	890-0046	鹿児島市西田X-X-X	099-XXXX-XXXX

パソコンのデータを管理する



この章では、パソコンのデータをCD-R/RW、DVD±R/RW、DVD-RAMに書き込む方法を紹介します。

※ 使用できるディスクの種類については、「音楽CDやDVDを作る」の「使用するディスクについて」（☞35ページ）を参照してください。

※ 書き込みに失敗しないために、「ディスクへの書き込みのご注意」（☞35ページ）を参照してください。

CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD＋R/RW、DVD-RAMにデータを保存しよう	71ページ	Roxio Easy Media Creator
CD-RW、DVD-RW、DVD＋RW、DVD-RAMからデータを消去しよう	73ページ	Roxio Easy Media Creator
DVD-RAMのデータ保存と消去	74ページ	
古いパソコンからデータを引き継ごう	76ページ	

CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAMにデータを保存しよう

残しておきたい大切なデータは、Roxio Easy Media Creatorを使用しCD-R，CD-RW、DVD-R、DVD-RW，DVD+R、DVD+RWに書き込んで保存できます。

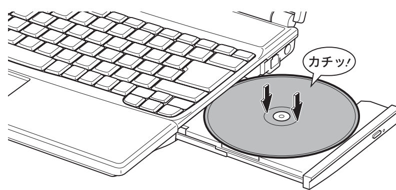
DVD-RAMについて

- 新しいDVD-RAMは､そのままでは使用できません。「フォーマット」という作業が必要です。（☞74ページ）
- DVD-RAMには､ハードディスクに保存するときと同様の操作で､データを保存します。

■準備するもの

次のいずれかのディスク
未使用のCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

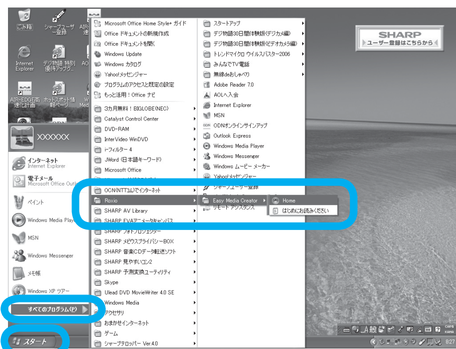
1 ディスクをCD/DVDドライブにセットします



「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは[キャンセル]をクリックします。

2 Roxio Easy Media Creatorを起動します

[スタート]をクリックし､「すべてのプログラム」-「Roxio」-「Easy Media Creator」-「Home」をクリック。



3 操作画面を表示します

① 画面左側の「データ」タブをクリック。
② 「データディスク」をクリック。

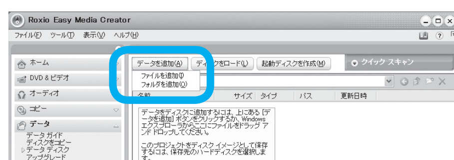


CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAMにデータを保存しよう

4 保存するデータを指定します

① [データを追加]をクリック。
② 「ファイルを追加」または「フォルダを追加」をクリック。
③ 「ファイルを追加」を選んだ場合
保存するデータを選択して[追加]をクリック。

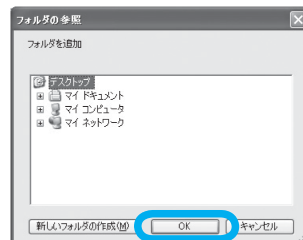
「フォルダを追加」を選んだ場合
保存するフォルダを選択して[OK]をクリック。
④ 操作手順①〜③を繰り返して、保存するデータを指定します。



「ファイルを追加」を選んだ場合

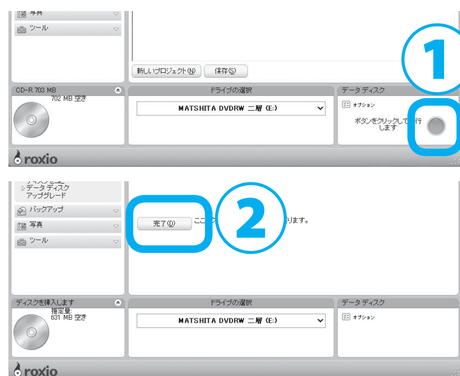


「フォルダを追加」を選んだ場合



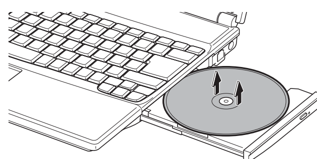
5 ディスクに書き込みます

① ●をクリック。
ディスクへの書き込みが始まります。
書き込みが終わると、自動的にCD/DVDドライブが開きます。
② [完了]をクリック。



6 終了します

① ディスクを取り出す。
② 画面右上の×をクリック。



- データが書き込まれているディスクにデータを追加して書き込むこともできます。操作については、Roxio Easy Media Creatorのヘルプを参照してください。
- CD-RW、DVD-RW、DVD+RWは、書き込んだデータを消去して、もう一度データを書き込むことができますが、CD-R、DVD-R、DVD+Rは書き込んだデータを消去できませんので、十分ご注意ください。
- 「現在のデータディスクプロジェクトを保存しますか？」と表示された場合は、[いいえ]をクリックしてください。
- Roxio Easy Media Creatorに関しては、ソニック・ソルーションズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、「パソコン電子マニュアル」の「お問い合わせ先一覧」(☞10ページ)でご確認いただくか、サポートのご案内をご覧ください。

CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAMからデータを消去しよう

CD-RW、DVD-RW、DVD+RWに保存されているデータが不要になった場合、データを消去して、別のデータの保存に利用できます。

DVD-RAMの場合は、ハードディスクから消去するときと同様の操作で、データを消去します。

● 手順4の をクリックするとすぐに消去が始まります。
データを消去してもよいディスクかどうか、十分確認してから操作してください。

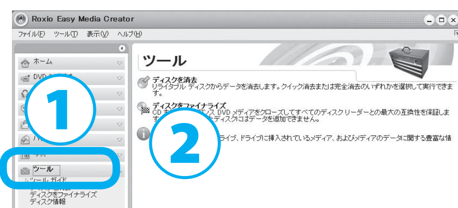
1 消去するディスクをCD/DVDドライブにセットします

「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたとき、または、「WinDVD」が起動したときなどは、画面右上の をクリックして画面を閉じてください。

2 Roxio Easy Media Creatorを起動します

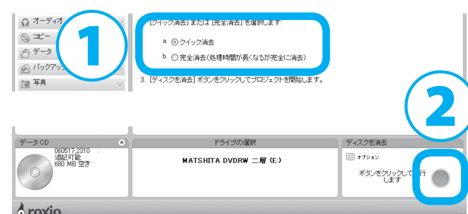
[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「Roxio」-「Easy Media Creator」-「Home」をクリック。

3 操作画面を表示します



① 画面左側の「ツール」タブをクリック。
② 「ディスクを消去」をクリック。

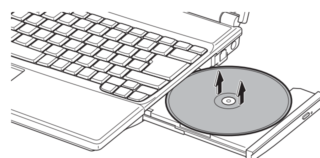
4 消去します



① 「クイック消去」または「完全消去」をクリック。
② をクリック。
データの消去が始まります。
データの消去が終わると、自動的にCD/DVDドライブが開きます。

「完全消去」を選択した場合、ディスクの種類やディスクの状態によっては、消去が完了するまでに時間がかかることがあります。

5 終了します



① ディスクを取り出す。
② 画面右上の をクリック。

DVD-RAMのデータ保存と消去

次のCD/DVDドライブを搭載したモデルでは、DVD-RAMが利用できます。
・DVDマルチドライブ
・DVDスーパーマルチドライブ
・DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層書込対応)
・DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層書込対応)

新しいDVD-RAMをフォーマットする

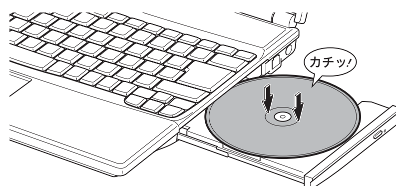
新しいDVD-RAMは、そのままでは使用できません。「フォーマット」という作業が必要です。
保存するデータの種類やDVD-RAMを使う機器に応じて、次の3種類のフォーマットから選びます。

● ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）
Windows XP/2000搭載パソコンのドライブでデータを読み出すことができます。
DVD-VR形式に対応し、DVDビデオレコーダーとの互換性があります。
「Ulead DVD Movie Writer 4 SE」で映像を書き込んで、DVDビデオレコーダーで再生するためのディスクを作成する場合は、このフォーマットを選択します。

● ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）
Windows XP/2000搭載のパソコンでデータを読み出すことができます。

● FAT32
Windows XP/2000/Me/98搭載のパソコンでデータを読み出すことができます。

1 **新しいDVD-RAMをCD/DVDドライブにセットします**

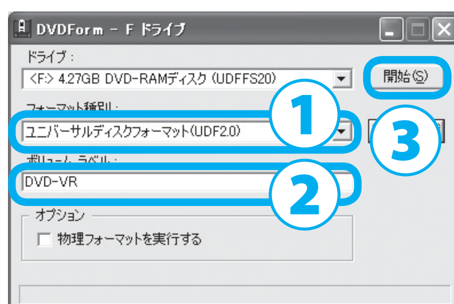


2 **［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします**

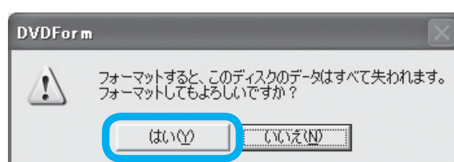
3 **「DVD-RAMドライブ」アイコンを右クリックし、「フォーマット」をクリックします**

4 次の項目を設定します

① 「フォーマットの種別」を選択。
② ボリュームラベル(フォーマットするDVD-RAMの名前)を半角英数字で入力。
③ [開始]をクリック。



5 確認画面で[はい]をクリックします



6 終了します

① [OK]をクリック。
② [閉じる]をクリック。
③ マイコンピュータ画面右上の☒をクリック。
④ DVD-RAMを取り出す。



DVD-RAMへのデータの保存について

DVD-RAMは、ハードディスクに保存するときと同様の操作で、データを保存することができます。

DVD-RAMのデータの消去について

DVD-RAMは、ハードディスクから消去するときと同様の操作で、データを消去することができます。

古いパソコンからデータを引き継ごう

Windows XPの「ファイルと設定の転送ウィザード」を使用すると、今まで使ってきたパソコンから新しく買ったパソコンへ、インターネットやメールの設定や作成したファイルなどを簡単に移すことができます。

LAN環境がある場合

パソコンをLANで接続し、ネットワーク経由でデータを移行することができるときは、[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「システムツール」−「ファイルと設定の転送ウィザード」から「ファイルと設定の転送ウィザード」を起動し、表示される画面の表示に従って操作すると、データをダイレクトに移行することができます。
「ファイルと設定の転送ウィザード」を実行する前には、パソコン同士をLANを使って接続しておいてください。ネットワークの接続について詳しくは、取扱説明書を参照してください。

LAN環境がない場合

ディスクを使ってデータを移します。以下の手順に従って操作してください。
なお、ここでは、次の設定やデータなどを移す操作手順を説明します。

- Internet Explorerの設定
- Internet Explorerのお気に入り
- Outlook Expressのアドレス帳
- Outlook Expressの電子メール
- Outlook Expressのメールアカウント
- ダイヤルアップの設定

転送先のパソコンで転送ウィザードディスクを作成する

転送元のパソコンがWindowsXP以外（Windows95、Windows98、WindowsMe、Windows2000、WindowsNT4.0)の場合、転送先のパソコンでWindowsXPの転送ウィザードディスクを作成する必要があります。転送元、転送先両方のパソコンを確認して、両方のパソコンで使用できるUSBメモリーやSDメモリーカードなどをご用意ください。



転送元のパソコンのデータをディスクに保存する

転送元のパソコンがWindowsXPの場合は、この項目から操作します。
データを収集する前に、転送元のパソコンの電源を入れ、「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「システムツール」−「ファイルと設定の転送ウィザード」を起動します。またデータを格納するためのディスクをパソコンにセットしておいてください。



転送先のパソコンにデータを移行する

他のアプリケーションソフトで作成したデータも移すことができますが、転送先のパソコンにそのアプリケーションソフトがインストールされていない場合は、アプリケーションソフトもインストールする必要があります。

転送先のパソコンで転送ウィザードディスクを作成する

1 転送先のパソコンにUSBメモリーカードやSDメモリーカードをセットします

転送元のパソコンでも使用可能なUSBメモリーカードやSDメモリーカードなどのメモリーカードをセット。

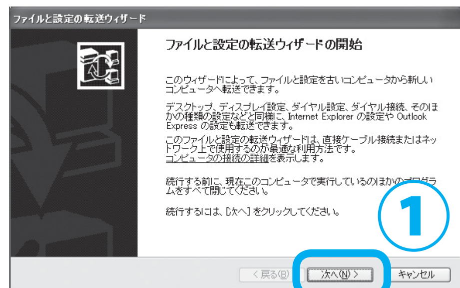
「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

2 転送先のパソコンで「ファイルと設定の転送ウィザード」を起動します

[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリック。

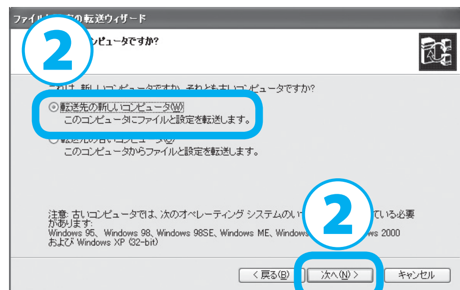
3 転送ウィザードディスクを作成します

① [次へ]をクリック。

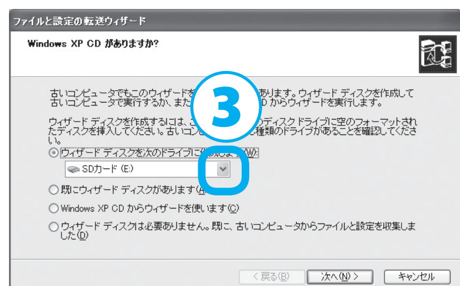


② 「転送先の新しいコンピュータ」をクリックして選択し、[次へ]をクリック。

「Windowsセキュリティの重要な警告」画面が表示された場合は、「ブロックする」「ブロックを解除する」「後で確認する」のいずれかを選んでクリックします。



③ 「ウィザードディスクを次のドライブに作成します」 をクリックして保存先を選択し、[次へ]をクリック。
「…空のディスクを挿入してください。」と表示されたときは[OK]をクリックしてください。
転送ウィザードディスクの作成がはじまります。
転送ウィザードディスクの作成が終わると、右の画面が表示されます。



4 転送ウィザードディスク(メモリーカード)を取り出します

次の手順からは、転送元のパソコンで操作します。

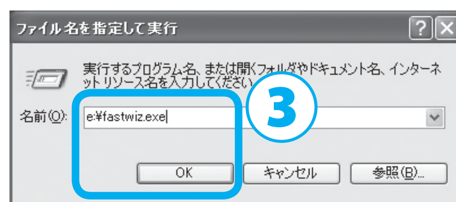
5 転送元のパソコンに「ファイルと設定の転送ウィザード」を表示します

① 転送ウィザードディスク (メモリーカード) を、転送元のパソコンにセット。

② [スタート]をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリック。



③ 挿入した転送ウィザードディスクがEドライブのときは、「e:¥fastwiz.exe」と入力し、[OK]をクリック。



ドライブ名は使用しているディスクによって異なります。
確認して入力してください。
「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。

転送元のパソコンのデータをディスクに保存する

転送元のパソコンに「ファイルと設定の転送ウィザード」がある場合は、ここから操作します。
転送元のパソコンの電源を入れ、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ファイルと設定の転送ウィザード」を起動します。
転送元のパソコンに「ファイルと設定の転送ウィザード」がなく、ウイザードディスクを作成した場合も、引き続き以下の手順で操作してください。
データを格納するためのディスクをパソコンにセットしておいてください。

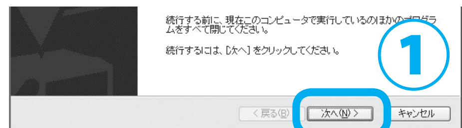
1 データの保存先を指定します

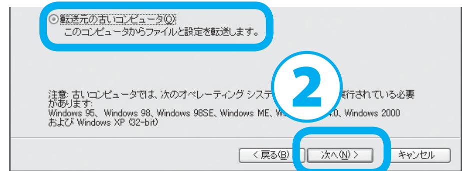
① [次へ]をクリック。

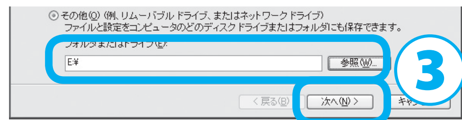
② 「転送元の古いコンピュータ」をクリックして選択し、[次へ]をクリック。

> 「Windowsセキュリティの重要な警告」画面が表示された場合は、「ブロックする」「ブロックを解除する」「後で確認する」のいずれかを選んでクリックします。

③ 「その他」を選択し、[参照]をクリックして挿入したディスクを指定し、[次へ]をクリック。







2 転送したいデータを指定して保存します

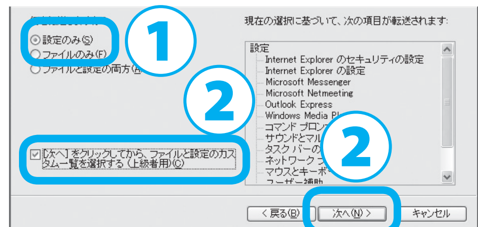
① 「設定のみ」をクリック。

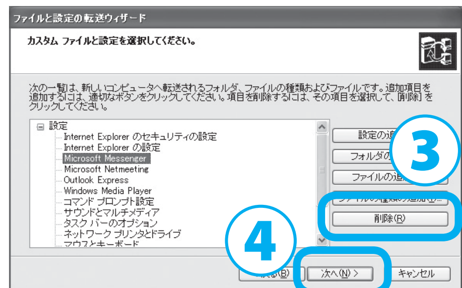
② 「[次へ]をクリックしてから、ファイルと設定のカスタム一覧を選択する」をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリック。

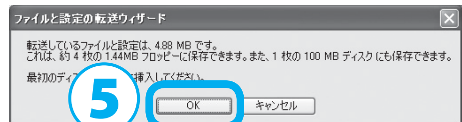
③ 転送しない設定があればクリックして選択し、[削除]画面をクリック。転送したい設定が表示されていることを確認します。

④ [次へ]をクリック。
メッセージが表示された場合は、[OK]をクリックします。

⑤ [完了]をクリック。





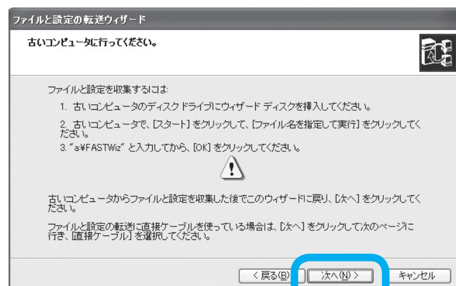


3 ディスクを取り出します

古いパソコンからデータを引き継ごう

転送先のパソコンにデータを移行する

操作の前に、移行するデータの保存されたディスクを転送先のパソコンにセットしてください。
ディスクをセットしたときに、「Windowsが実行する動作を選んでください」という画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。
先に転送先のパソコンで転送ウィザードディスクを作成した場合は、右の画面で[次へ]をクリックし、手順2の④の操作に進みます。
転送元に「ファイルと設定の転送ウィザード」があった場合は、転送先のパソコンの電源を入れ、以下の手順で操作します。

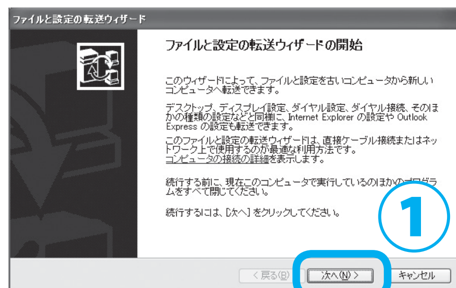


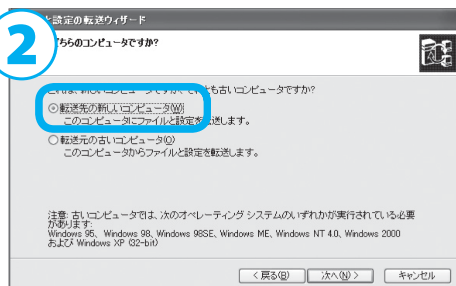
1 転送先のパソコンで「ファイルと設定の転送ウィザード」を起動します

[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリック。

2 ディスクからデータを取り込みます

① [次へ]をクリック。
② 「転送先の新しいコンピュータ」が選ばれていることを確認し、[次へ]をクリック。
③ 「ウィザードディスクは必要ありません。...」を選択し、[次へ]をクリック。
④ 「その他」を選択し、[参照]をクリックして、データを保存したディスクを指定し、[次へ]をクリック。
「ディスク1を挿入してください。」というメッセージが出たときは[OK]をクリックします。
データの取り込みが始まります。





⑤ データの取り込みが終わったら、[完了]をクリック。

「変更を有効にするにはログオフする必要があります。画面今、ログオフしますか」というメッセージが表示されます。
ログオフすると新しい設定が有効になり、データの移行が完了します。

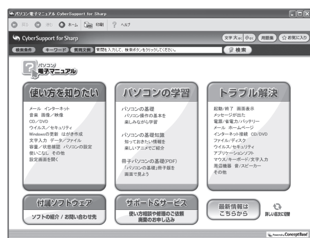
メビウス
活用ガイド





●パソコン電子マニュアル

パソコンの画面にも専用のマニュアルがあります。冊子のマニュアルとあわせてご覧ください。





● メビウスホームページ

http://www.sharp.co.jp/mebius/

インターネットをご利用の方は、上記のホームページもご活用ください。「メビウスホームページ」では、商品情報やQ&A、周辺機器情報、ダウンロード情報など、役立つ情報を掲載しています。



● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・

別冊の「サポートのご案内」をご覧ください。

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

この説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。